

履修編

農学部

応用生物科学部

地域環境科学部

国際食料情報学部

短期大学部

『履修編』を読むにあたって

■履修すること

大学で授業を受けるためには、自ら科目を選び登録しなければなりません。この一連の行為を「履修登録」といいます。「履修登録」していない科目には、試験を受ける資格がありません。また、成績（評価）も付きません。従って、正しく履修登録しないと、進級することも卒業することもできないのです。

この「履修編」は、みなさんが本学で学ぶうえでのガイドブックとして作成しており、カリキュラムや授業・試験などの内容や、さまざまな手続き、決まりごとを掲載しています。履修登録する際には、別途配付した「履修のてびき」を合わせて熟読し、自分の将来計画・資格取得等を充分考慮して「履修登録」して下さい。

本学では、みなさんへの伝達事項（呼び出し・時間割発表など）は、「学生ポータルサイト」、「書類配付」または「掲示」で行っています。まず「学生ポータルサイト」を見る習慣を身に付けて下さい。また、配付した書類は、必ずよく読んで下さい。さらに、各種手続き・提出物に関しては、提出期日を必ず守って下さい。卒業後、実社会での諸手続きの期限は実に厳格です。この社会に適応する意味においても在学中から「締切日1日前の提出」を心がけて下さい。掲示や配付した書類を読んでもなおわからない場合には、窓口（世田谷キャンパス＝学習支援課・厚木キャンパス＝学生サービス課）で相談して下さい。

授業科目の履修にあたっては、各自の学習目的及び所属学部・学科の教育目標を十分理解し、それを基本にした上で、慎重に行なって下さい。

■学生諸君への注意事項

- 1 「学生ポータルサイト」・「掲示板」を必ず確認すること。
- 2 配付された書類は熟読すること。
- 3 履修登録やレポートなどの提出期限を守ること（締切後は受け付けない）。
- 4 電話での問い合わせは、原則として受け付けない。
- 5 窓口の業務時間は次のとおり（質問・相談等は業務時間内に行うこと）。

〔平日〕 世田谷キャンパス 8:30～19:30 厚木キャンパス 8:30～17:00

※夏季休業等授業を実施していない期間中は、業務時間を変更するので確認すること。

■学部・学科等の名称の短縮表示・表示順番について

学部・学科等の短縮名と表示順は次のとおりです。

学部・学科等の短縮名

学部名等	短縮名	学部名等	短縮名
農学部 農学科 農業生産科学コース 園芸生産科学コース 畜産学科 バイオセラピー学科 応用生物科学部 バイオサイエンス学科 生物応用化学科 醸造科学科 栄養科学科 食品栄養学専攻 栄養科学科 管理栄養士専攻 地域環境科学部 森林総合科学科 生産環境工学科 造園科学科 国際食料情報学部 国際農業開発学科 食料環境経済学科 国際バイオビジネス学科	農学部 農学 農 園 畜産 セラピー 応生学部 バイオ 化学 醸造 栄養 管理 環境学部 森林 工学 造園 国際学部 開発 経済 ビジネス	英語による専門教育プログラム 全学共通科目 教職課程 学術情報課程	英語専門 全学共通 教職／教 学術
		短期大学部 生物生産技術学科 環境緑地学科 醸造学科 栄養学科	短大部 短生 短緑 短醸 短栄

大 学

- 農 学 部 (厚 木キャンパス)
- 応用生物科学部 (世田谷キャンパス)
- 地域環境科学部 (世田谷キャンパス)
- 国際食料情報学部 (世田谷キャンパス)

授業科目の概要

授業科目は、本学の教育目標を達成するために、次のように分けられ各年次に配当されています。

1 科目の区分

- (1) 必修科目：必ず修得しなければならない科目
- (2) 選択必修科目：限定された科目群の中から、指定された単位数を修得しなければならない科目
- (3) 選択科目：学生の意思により選択し、卒業要件単位数以上を修得しなければならない科目

2 総合教育科目

(1) 全学共通

- ① 導入科目：大学での学習と学生生活のための基礎的技能を涵養するための科目
- ② 課題別科目：農学を多角的視点から理解する学科横断的な科目
- ③ 英語科目：全学的な英語力の向上のための科目
- ④ スポーツ関係科目：スポーツを通して健全な身体と体力、精神力を養うための科目
- ⑤ 就職準備科目：就職への意識高揚と社会に出て役立つ知識を習得するための科目
- ⑥ 演習科目：少人数教育による思考力、ディスカッション・プレゼンテーション能力を涵養するための科目

(2) 学部共通

- ① 人間関係科目：社会道徳と倫理観を涵養するための科目
- ② 社会関係科目：社会の仕組みの基礎知識を得るための科目
- ③ 自然関係科目：自然科学についての幅広い視野と探究心を養うための科目
- ④ 初修外国語科目：外国の情報・文化の吸収及び情報発信を行う能力を養成するための科目
- ⑤ リメディアル教育科目※：基礎知識向上のための補講科目

※成績評価（「秀」評価を除く）されるが、卒業要件単位及びGPAには含まれない。

3 専門教育科目

(1) 学部専門

- ① 専門共通科目：農学及び各学部の基礎概念、知識を総合的に把握するための科目
- ② 創生型科目：分野横断包括型の教育プログラムなど農学的知識と経験を応用し、グループで課題に取り組む科目
- ③ 学際領域科目：学生の興味と複数学科の教育目標に対応する科目

(2) 学科専門

- ① 専門基礎科目：専門を理解するための基礎となる科目
- ② 専門コア科目：学生が主体的に専門の課題を探究し、解決する能力と知識を養成するための科目
- ③ 総合化科目：卒業論文、総合演習など

4 オープン開講方式による授業科目

- (1) 英語による専門プログラム
- (2) 特別活動プログラム
- (3) 日本語科目

5 資格取得に関する授業科目

- (1) 教職課程科目：教職免許状を取得するために教育職員免許法に基づいて設けられた科目
- (2) 学術情報課程科目：司書資格、学芸員資格を取得するための科目

単 位 制

大学における単位制とは、授業科目を履修し、その授業科目に与えられた単位を試験等に合格することによって修得する制度です。卒業までに定められた単位数を修得しなければなりません。

各授業科目の単位数は、授業の方法に応じて異なり、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学習等を考慮して次の基準により定められています。

[単位計算基準]

区 分	単位数	授 業 時 間
講義・演習（外国語を含む）	2 単位	2 時間(週 1 コマ) × 15週(半期)
実験・実習・研修・スポーツレクリエーション	1 単位	2 時間(週 1 コマ) × 15週(半期)

※1時限（1コマ=2時間）は90分授業で実施します。

授 業

1 学期制（セメスター制）

本学では1年間を前学期と後学期の2学期に分け、それぞれの学期の中で各学期配当科目の授業・試験・成績評価を行います。したがって各学期の最終評価が不合格となった科目を履修する場合は、翌年度に再度履修し、授業を受講することになります。

2 授業時間

本学の授業は、90分を1時限として行います。なお、授業の時間区分は次のとおりです。

時限	1 時限	2 時限	昼休み	3 時限	4 時限	5 時限	6 時限
時間	9 : 00	10 : 40	12 : 10	13 : 00	14 : 40	16 : 20	18 : 00
(90分間)	9 : 30	11 : 10	12 : 40	13 : 30	15 : 10	16 : 50	18 : 30

※短期間に行う集中授業及び隔週で行う授業もあります。

3 出席の重要性

授業は、教員と学生が直接人間的なふれあいを通して学問する場であり、学生生活の基本となるものです。また、単位制の基本となる授業時間について定めがあるように、出席状況は成績評価の重要な要素になります。なお、授業を3分の1以上欠席した場合は、定期試験等を受験しても単位を修得できない場合があります。

4 欠席届

授業をやむを得ない事由で欠席する場合または欠席した場合は、学習支援課（厚木キャンパスは学生サービス課）窓口において「欠席届」に必要事項を記入の上、授業担当者に直接提出して下さい（欠席届は学生ポータルサイトからもダウンロードできます）。

なお、学校保健法に規定された伝染病による欠席届は、専用の様式があります。詳細は、p.50の「健康管理」を参照して下さい。

5 休講

休講の場合は事前に掲示により伝達します。休講の掲示がなく、30分経過しても授業が開始されない場合は、関係窓口で確認して下さい（休講情報は、学生ポータルサイトでも確認できます）。

6 補講

授業時間数がやむを得ない事情により不足した場合には、補講授業を実施することがあります。この場合、授業担当者が指示するほか、学生ポータルサイト・掲示により伝達します。

7 学生による授業評価

本学では授業を改善するために、学生ポータルサイトまたは携帯電話で「学生による授業評価」を実施しています。より良い授業を行うことは授業担当者の責務ですが、内容がきちんと受講生に伝わっているか、理解されているか、あるいは「わかりやすいか」を把握（測定）するためには授業評価を実施して受講生の声を集める必要があります。また、大学全体の授業と比較して自分の授業がどうであるかを把握するためにも授業評価は有効です。より良い授業は、授業担当者と受講生が協力して創り上げるものであるため、授業評価の実施に協力して下さい。

また、授業に対して意見がある場合は学習支援課（厚木キャンパスは学生サービス課）窓口においてある「授業に意見」という用紙を用いて提出することができます。これは日ごろ授業を受けていて感じることを、改善してほしいことを大学に伝えるためのものです。提出された意見は十分検討し、改善を図ることになっています。学生ポータルサイトには、大学への要望・提案および授業・研究室、学生生活上の悩み等をメールで受け付ける窓口を開設していますので利用して下さい。

履 修

1 履修とは

毎年度はじめに1年間の受講科目を各自が決定し、実際の授業に出席する一連の流れをいいます。

2 履修科目決定までの流れ

(1) 履修計画

履修登録を行うにあたって、1年間の履修計画を立てなければなりません。次の点を考慮し計画して下さい。

- ① 各学科の「授業科目配当表」（※後掲）、「講義要項（シラバス）」（※別冊）を熟読し、カリキュラムの概要を把握して下さい。
- ② **必修科目**は、決められた年次・学期に履修して下さい。
- ③ **選択必修科目**は、指定された科目の中から、決められた単位を満たすように履修して下さい。
- ④ **選択科目**は、将来志向や資格取得などを考え、卒業要件を満たすように履修して下さい。
- ⑤ 進級基準及び卒業基準を超えるように、履修計画を立てて下さい。

(2) 履修登録

履修登録とは、各自が受講しようとする授業科目について、その意思表示をすることです。また、履修登録は1年間あるいは各学期の履修計画を決める上で最も重要な手続きであり、単位の修得及び卒業には欠かすことのできないものです。履修登録を安易に考え、手続きを怠ったことにより無駄な時間を過ごしてしまうことになりかねません。各自の履修計画を円滑に進めるために細心の注意を払って履修登録して下さい。

なお、履修登録の詳細は「履修のてびき」（別冊）に記載してあります。これを参照し履修登録して下さい。

(3) 履修の確定

5月中に「履修確定表」を学生ポータルサイトに開示します。この表に記載されている授業科目が当該年度の登録された科目です。登録されていない科目がある場合は、履修修正期間内に手続きして下さい。

※後学期配当科目については、後学期授業開始後に登録の変更を認めます。

詳細については「履修のてびき」で確認して下さい。

3 履修上の注意事項 [取決め事項]

(1) 履修登録単位数の制限について

単位を得るためには、定められた時間の学習が必要です。例えば、講義科目の場合、2単位を修得するためには、90時間の学習が必要であり、1回の授業において2時間（2時間×15週間＝30時間）学び、1週間に4時間（4時間×15週間＝60時間）の予習・復習を行うことにより、単位が与えられます。このように履修登録単位数と学習時間は連動しており、登録する単位数が多ければ1週間に学習する時間は比例して増加することになります。

本学では履修登録を行うにあたって、次のように登録できる単位数を制限しています。1週間に学習できる時間数を考えて履修登録して下さい。なお、卒業年次生および編入学生は履修登録制限はありません。また、教職課程科目、学術情報課程科目及び特別活動プログラムについては、この履修登録単位数の制限から除外します。

1年間に履修登録できる単位数の上限……50単位（他学科・他学部聴講・英語専門・全学共通を含む）

各学期に履修登録できる単位数の上限……26単位（他学科・他学部聴講・英語専門・全学共通を含む）

例えば前学期に26単位登録した場合には、後学期に登録できる単位数は24単位になります。

※履修登録できる単位数とは、あくまでも登録した科目の総単位数であり、修得できた総単位数ではありませんので、注意して下さい。

(2) 有料科目について

一度履修して不合格になった科目を再び履修する場合（再履修）は有料になり、1科目につき所定の金額を納付することになります。詳細は「履修のてびき」で確認して下さい。

(3) 他学部聴講・他学科聴講・大学間聴講について（詳細は「履修のてびき」を参照）

他学部聴講とは他の学部で開講している講義科目を履修すること、他学科聴講とは所属学部内の他の学科の講義科目を履修すること、大学間聴講とは東京農業大学短期大学部の講義科目を履修することです。

- ・修得した単位は、他学部聴講・他学科聴講・大学間聴講を合わせて30単位まで、卒業要件単位に加えることができます。また、在学中に履修できる単位も合計30単位までです（合否に関わらず、履修した時点で単位数をカウントします）。
- ・実験・実習・演習・研修科目・栄養科学科専門教育科目の資格必修科目は、履修できません。
- ・他学部聴講・他学科聴講は、上級学年配当の科目は、履修できません。
- ・大学間聴講は、必修・選択必修の科目、英語科目、実験・実習・演習科目、学情科目及び栄養科学科専門教育科目の資格必修科目は、履修できません。

(4) 大学間の協定による授業科目の履修について（詳細は「履修のてびき」を参照）

東京情報大学との間で協定を締結しており、それぞれの大学の授業科目を履修することができます。

また、農学部においては、首都圏西部大学単位互換協定に基づき、協定締結大学間の授業履修・単位修得ができます。

これらの科目は、履修登録単位数の制限には入りません。

試験

授業科目の履修状況を評価し、単位を認定するために試験を行います。授業科目によっては、レポートに代える場合があります。授業に出席し授業担当者の指示に従って下さい。

受験資格

- (1) 当該授業科目が履修登録されていること
 - (2) 当該授業担当者の定める出席日数を満たしていること（原則として授業日数の2/3以上）
 - (3) 当該学期までの学費その他の納付金を納入していること
- ※休学期間中に試験を受けることはできない

1 定期試験

一定の期間内に時間割を決めて各学期に実施する試験です。定期試験を実施する授業科目及びその時間割は、試験開始1週間前に掲示板・学生ポータルサイトで発表します（実験・実習・演習科目は、原則として「定期試験」を実施しません）。

なお、定期試験またはそれに代わる試験を病気その他やむを得ない事由により欠席した場合は、指定された期日（試験時間割発表時に掲示）までに欠席の事由（当日の状況など）を証明する書類を持参して試験欠席の手続きを行って下さい。この届出により、追試験の受験を認めます。欠席事由と添付提出書類は次のとおりです。

欠席事由	提出書類
病気	医師の診断書（試験当日の健康状態を記載のものに限る）
交通機関の遅延	交通機関発行の遅延証明書
忌引（三親等までの親族の死亡）	死亡に関する書類（会葬通知等）
就職試験等	欠席の事由を証明する書類（企業からの文書、メールのプリントアウト等）に、世田谷キャンパスはキャリアセンター、厚木キャンパスはキャリア・エクステンション課が証明したもの ※原則として最終選考（役員面接等）を対象とする。証明が受けられない場合があるので、必ず試験前に担当課にて確認すること。企業説明会は認めない。
災害（水害・火災等）	官公庁による被災証明書

※詳細は関係窓口で確認して下さい。

2 追試験

定期試験またはそれに代わる試験を病気その他やむを得ない事由により受験できなかった者のうち、指定された期日までに試験欠席届を提出した者に対して各学期末に行う試験です（無料）。従って、本人の不注意による試験の欠席および証明する書類がない場合は、追試験の対象となりません。

※追試験を欠席した場合の再度の試験は行いません。

3 定期試験に関する注意事項

- 試験時間は45分間です。通常の授業時間とは異なるので注意して下さい。
- 学生証を所持していない学生は受験できません。なお、当日忘れた場合は、学生生活支援課（厚木キャンパスは学生サービス課）にて仮学生証の発行を受けて下さい（有料・当日限り有効）。
- 受験科目が重複した場合は、事前に申し出て下さい。
- 試験場への入場は、試験開始後20分までとします（試験開始後は、退場できません）。
- 試験場あるいは受験科目・授業担当者の間違い、無記名答案は受験しても無効となります。
- 答案は白紙であっても必ず提出して下さい。
- 試験場においては、すべて監督者の指示に従わなければなりません。
- その他試験に関しては、関係窓口へ問い合わせして下さい。

[試験時間]

時限	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限
時間	9：00	10：00	11：00	12：00	13：00	14：00
	9：45	10：45	11：45	12：45	13：45	14：45
時限	7時限	8時限	9時限	10時限	11時限	
時間	15：00	16：00	17：00	18：00	19：00	
	15：45	16：45	17：45	18：45	19：45	

4 不正行為について

不正行為（カンニング等）が発覚した場合は、当該学期の評価をすべて無効（未評価）とします。

5 試験に代えて行うレポート提出時の注意事項

レポートの提出は、担当教員が授業中に提出を求める場合、担当教員が締切期日を指定して研究室等で受け付ける場合、窓口で受け付ける場合があります。

科目名： _____	担当者： _____	
<課題>		

学科： _____	学年： _____	学籍番号： _____
氏名： _____		

いずれの場合も**提出締切期限厳守**となっていますので注意して下さい。レポートの提出に際しては、原則として次の注意事項に従って下さい。

- 表紙を含めサイズは、授業担当者の指示がない限りA4にして下さい。
- 必要事項（科目名・担当者・課題・学科・学年・学籍番号・氏名）をもれなく記載して下さい。
- 原則として左上角をホッチキスで必ず止めて下さい。ただし、授業担当者の指示がある場合はそれに従って下さい。
- 定められた場所に提出して下さい。
- 提出期限は厳守して下さい。
- 表紙のないレポートや、記載内容に不備があるレポートは、無効になる場合があります。

成績

1 成績評価

成績評価は、「秀」・「優」・「良」・「可」が合格で、「不可」・「未評価」は不合格です。成績評価の基準は、次の通りです。

成績評価基準のガイドライン

判定	成績	表示	成績評価基準	GP	成績評価内容
合格	秀	S	100～90点	4.0	特に優れた成績（履修者の5%以内）
	優	A	89～80点	3.0	優れた成績
	良	B	79～70点	2.0	妥当と認められる成績
	可	C	69～60点	1.0	合格と認められる成績
不合格	不可	D	59点以下	0	合格と認められる成績に達していない
	未評価	F	—	0	評価に値しない

2 GPA（グレード・ポイント・アベレージ）

(1) GPA

自らの学業成績の状況を的確に把握して、適切な履修計画とそれに基づく学習に役立てるため、GPAを算出しています。

(2) GPA対象科目

GPAの対象科目は、①「卒業要件に算入できる科目」であって、かつ②「5段階評価によって成績を認定する科目」とし、③「学生が履修登録した科目」とします。したがって、他学科・他学部聴講科目などは含め、教職・学術情報課程や特別活動プログラム及び認定科目は除かれます。

(3) GPAの算出

[学期ごとのGPAの算出方法]

学期ごとのGPA算出は、次の式によります。

$$\frac{\text{(当該学期で履修登録したGPA対象科目のGP} \times \text{その科目の単位数) の合計}}{\text{当該学期で履修登録したGPA対象科目の単位数の合計}}$$

注1. GPA対象科目で不可（D）及び未評価（F）科目は、分母に含みます。

注2. 通年科目は後学期に含めGPAを算出します。

注3. 「不可」・「未評価」となった科目を再履修した場合は、再履修した当該学期の対象科目に含め、GPAを算出します。

注4. 前項の場合、「不可」・「未評価」となった学期のGPAは変更しません。

[通算GPAの算出方法]

通算GPAは、在学中に履修登録したすべてのGPA対象科目に基づくもので、その算出は次の式によります。

$$\frac{\text{(在学中に履修登録したGPA対象科目の最新GP} \times \text{その科目の単位数) の合計}}{\text{在学中に履修登録したGPA対象科目の単位数の合計}}$$

注1. 通算GPAは毎学期末に算出します。

注2. 再履修した場合は1科目としてカウントします(ダブルカウントしない)。

注3. 再履修した科目のG Pは、最新の評価に基づく値で算出します。

3 履修成績表

各学期に履修した授業科目の成績は、次の学期の授業開始前に履修成績表として学生ポータルサイトにて開示します。

4 成績証明書

成績証明書には、「秀」・「優」・「良」・「可」の合格した授業科目(科目名・単位数・評価)と通算GPAを記載し、不合格の授業科目は記載しません。

5 成績相談

学期毎の成績発表後に実施します。詳細は「履修のてびき」で確認して下さい。

進 級

1 1年次から2年次への進級判定(休学者を除く)

1年次終了時に卒業要件に関わる修得単位数が20単位未満の場合に行います(学則第35条第1項第2号に該当するものとみなして退学を命ずることがあります)。

2 2年次から3年次への進級基準(休学者を除く)

2年次終了時に、卒業要件に関わる修得単位数が50単位未満の場合には、3年次への進級を認めません(原級または学則第35条第1項第2号に該当する退学となります)。

3 3年次から4年次への進級基準(休学者を除く)

3年次終了時に、卒業要件に関わる修得単位数が90単位未満の場合には、4年次への進級を認めません(原級または学則第35条第1項第2号に該当する退学となります)。

4 進級者の発表

年度末(3月中旬)に進級確定者を掲示板で発表します。

在学期間

本学に在学できる期間は、休学期間を除いて8年です。

卒業・学位記

1 卒業要件

卒業に必要な単位数は「124単位」です。

[学部・学科別卒業要件単位数]

学部名	学 科 名	必修科目	選択必修科目	選択科目	合 計
農学部	農学科（農業生産科学コース）	63	12	49	124
	農学科（園芸生産科学コース）	63	12	49	124
	畜産学科	73	12	39	124
	バイオセラピー学科	55	12	57	124
応用生物科学部	バイオサイエンス学科	90	8	26	124
	生物応用化学科	79	8	37	124
	醸造科学科	83	8	33	124
	栄養科学科（食品栄養学専攻）	77	8	39	124
	栄養科学科（管理栄養士専攻）	75	8	41	124
地域環境科学部	森林総合科学科	60	12	52	124
	生産環境工学科	48	12	64	124
	造園科学科	75	20	29	124
国際食料情報学部	国際農業開発学科	65	12	47	124
	食料環境経済学科	57	12	55	124
	国際バイオビジネス学科	54	12	58	124

※詳細は各学科の授業科目配当表を参照のこと。

2 学位記

卒業生には、次のとおり学士の学位を授与します。また卒業時に学位記を授与します。

学 部	学 科	学 位
農 学 部	全 学 科	学 士（農 学）
応 用 生 物 科 学 部	全 学 科	学 士（応用生物科学）
地 域 環 境 科 学 部	全 学 科	学 士（地域環境科学）
国 際 食 料 情 報 学 部	全 学 科	学 士（国際食料情報学）

3 9月卒業

次の各項目をすべて満たす場合は、9月30日付で卒業する。

- ・ 9月30日までに卒業要件単位を満たしていること（9月30日までに卒業論文の評価が合格になった場合を含む）。
- ・ 9月30日で4年間在学していること。
- ・ 4年次を通算で1年間以上在籍していること。
- ・ 該当学生が9月卒業を希望していること。

そ の 他

1 学生への連絡と掲示

学生への通知や連絡は、学生ポータルサイト・提示によって行います。休講、補講、教室変更、時間変更、手続書類不備の呼出し等を掲示しますので、必ず毎日学生ポータルサイトを見る習慣をつけて下さい。

※電話による問い合わせ（行事予定・試験・休講等）は、受け付けていません。学生ポータルサイトで確認するか、関係窓口で直接聞いて下さい。

2 窓口での相談・質問等

履修に関する相談、試験に関する質問、レポートの提出、呼び出し応答など修学に必要な事項の相談・質問は、窓口へ申し出て下さい。

なお、提出期限のある手続き（レポート提出等）は、受付期間・時間を厳守して下さい（期限に遅れた場合は受け付けません）。

窓口受付時間（夏季休業等授業を実施していない期間中は時間を変更するので確認のこと）

〔平日〕 世田谷キャンパス 8:30～19:30 厚木キャンパス 8:30～17:00

※時間外は受け付けません。

授業科目配当表

農学部 農学科(農業生産科学コース)

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
全学共通	導入科目	必 フレッシュマンセミナー	2	F2				
		必 情報基礎(一)	2	F2				必
		必 情報基礎(二)	2	L2				
学部共通	人間関係科目	選 生命倫理	2		L2			理生
		選 科学と哲学	2			F2		
		選 芸術	2	F2				
		選 文化人類学	2		F2			
		選 日本国憲法	2	L2				必
		選 経済入門	2	L2				
	社会関係科目	選 現代社会の諸問題	2		L2			
		選 国際関係を考える	2		F2			
		選 生物学	2	F2				(理生)
	自然関係科目	選 化学	2	F2				(理化)
		選 数学	2	L2				
		選 物理学	2	L2				(理物)
選 地学		2		F2			(理地)	
総合教育科目	課題別科目	食料生産と自然環境(農学部)	2					
		バイオテクノロジーと生活(応用生物科学部)	2					
		環境と人間(地域環境科学部)	2					
		世界の中の農(国際食料情報学部)	2					
		寒冷地の生物産業(生物産業学部)	2					
		特別講義(一)	2					
		特別講義(二)	2					
		特別講義(三)	2					
		特別講義(四)	2					
		インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2				
		インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2				
		全学共通	英語科目	必 英語(一)	2	F2		
必 英語(二)	2			L2				
必 英語(三)	2				F2			
必 英語(四)	2				L2			
英語リーディング(一)	2			F2				
英語リーディング(二)	2			L2				
TOEIC英語(一)	2					F2		
TOEIC英語(二)	2					L2		
英会話(一)	2			F2				
英会話(二)	2			L2				
ビジネス英語	2						F2	
科学英語	2						F2	
学部共通	初修外国語科目	中国語(一)	2		F2			
		中国語(二)	2		L2			
		ドイツ語(一)	2		F2			
		ドイツ語(二)	2		L2			
		フランス語(一)	2		F2			
		フランス語(二)	2		L2			
		スペイン語(一)	2		F2			
		スペイン語(二)	2		L2			

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				一年次	二年次	三年次	四年次		
総合教育科目	全学共通	スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2				必	
		スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2				必	
		キャリアデザイン	1		L1				
		インターンシップ	1			1			
		ビジネスマナー	1			F1			
		必 共通演習	1	L1					
	学部共通	リメディアル教育科目	基礎生物学	2	F2				
		基礎化学	2	F2					
		基礎数学	2	L2					
		文章表現	2	L2					
		必 農学原論	2	F2				農	
		環境科学	2			F2		理化	
専門教育科目	専門共通科目	生物化学	2		F2		理化		
		動物福祉	2		L2				
		動物園論	2			L2		理生	
		健康福祉概論	2	F2					
		心理学概論	2	F2					
		知的財産論	2			F2			
	学部専門	創生型科目	実学的生命活用	2			1		
		農業と生態系	2			F2		農	
		農業経営学	2			F2		農	
		学際領域科目	植物生理生態学	2		L2			理生
			植物生長調節論	2			L2		理生
			生命科学	2			F2		理生
分子生物学	2				L2		理生		
民族植物学	2				F2				
自然再生技術論	2				F2		理生		
学部専門	学際領域科目	地球環境政策論	2			L2			
		実験計画法	2			F2			
		農業気象学	2		F2			理地	
		必 作物生産学	2	F2				農	
		必 土壌学	2	F2				農	
		植物栄養学	2		F2			理生	
	学科基礎科目	必 遺伝学	2	F2				理生	
		必 育種学	2	L2				理生	
		必 植物病理学	2	L2				理生	
		必 昆虫学	2	L2				理生	
		必 園芸学(一)	2	F2				農	
		必 園芸学(二)	2	L2				農	
学部専門	必 生物学実験	2		2			理生		
	必 農業実習(一)	2	2				農		
	必 農業実習(二)	2		2			農		

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職		
				一年次	二年次	三年次	四年次			
専門教育科目	専門基礎科目	農作業システム論	2		L2			農		
		資源植物論	2		F2			理生		
		雑草学	2			F2		農		
		農産物マーケティング論	2			L2		農		
		植物防疫論	2			L2		理化		
		専門コア科目	必	食用作物学(一)	2		F2			農
				食用作物学(二)	2		L2			農
				工芸作物学	2		L2			農
				草地・飼料作物学	2		L2			農
				植物育種学	2		L2			農
	植物工学			2		F2			理生	
	必		植物病原微生物学(一)	2		F2			理生	
			植物病原微生物学(二)	2			F2		理生	
			昆虫生態学	2			L2		理生	
			昆虫分類学	2		L2			理生	
			昆虫機能利用学	2			L2		農	
			必	作物学実験(一)	2			F2		農
				遺伝育種学実験(一)						理生
				植物病理学実験(一)						理生
				昆虫学実験(一)						理生
			必	作物学実験(二)	2			L2		農
				遺伝育種学実験(二)						理生
				植物病理学実験(二)						理生
	昆虫学実験(二)	理生								
	総合化科目	必	作物学演習(一)	4			F4	農		
			遺伝育種学演習(一)					理生		
			植物病理学演習(一)					理生		
			昆虫学演習(一)					理生		
		必	作物学演習(二)	4			L4		農	
			遺伝育種学演習(二)						理生	
			植物病理学演習(二)						理生	
			昆虫学演習(二)						理生	
必		作物学演習(三)	4				F4	農		
		遺伝育種学演習(三)						理生		
		植物病理学演習(三)						理生		
		昆虫学演習(三)						理生		
必	作物学演習(四)	4				L4	農			
	遺伝育種学演習(四)						理生			
	植物病理学演習(四)						理生			
	昆虫学演習(四)						理生			
必	卒業論文	4								

区分欄の必は必修科目、選必は選択必修科目を表す(空白は選択科目)。教職欄の○は、教職必修科目を表す。

卒業要件単位数			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
63単位	12単位	49単位以上	124単位以上

選択科目には次の単位を加算することができる。

- ・他学部聴講・他学科聴講・大学間履修・英語による専門教育プログラム・特別活動プログラムで修得した単位のうち30単位
- リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

- 注) 1 週時間数欄のFは前学期配当科目, Lは後学期配当科目を表す。
- 2 総合教育科目の人間関係科目は4科目中から2科目を選び必修とする。
- 3 総合教育科目の社会関係科目は4科目中から2科目を選び必修とする。
- 4 総合教育科目の自然関係科目は5科目中から2科目を選び必修とする。
- 5 総合教育科目の初修外国語は在学中1ヶ国語のみ履修することができる。(複数の外国語の履修は認めない)
- 6 学科専門-専門基礎科目の「農業実習(一)」は夏季集中に開講する。
- 7 学科専門-専門基礎科目の「生物学実験」及び「農業実習(二)」は隔週で通年開講する科目である。
- 8 学科専門-専門コア科目の「実験(一)」・「実験(二)」は、各自が所属する専攻の実験科目を必修とする。
- 9 学科専門-総合化科目の「演習(一)」・「演習(二)」・「演習(三)」・「演習(四)」は、各自が所属する専攻の演習科目を必修とする。
- 10 農業生産科学コースの学生は、園芸生産科学コースの次の専門コア科目について、自コースの選択科目として履修することができる。

農学科 園芸生産科学コース

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
専門教育科目	専門コア科目	果樹園芸学	2		F2			農
		果樹栽培論	2		L2			農
		野菜園芸学	2		F2			農
		野菜栽培論	2		L2			農
		花卉園芸学	2		F2			農
		花卉栽培論	2		L2			農
		バイオナーサリー論	2		F2			理生
		園芸環境植物学	2		F2			農
		ポストハーベスト論	2		L2			農

農学部 農学科(園芸生産科学コース)

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				一年次	二年次	三年次	四年次		
全学共通	導入科目	必 フレッシュマンセミナー	2	F2					
		必 情報基礎(一)	2	F2				必	
		必 情報基礎(二)	2	L2					
学部共通	人間関係科目	選 必 生命倫理	2		L2			理生	
		選 必 科学と哲学	2			F2			
		選 必 芸術	2	F2					
		選 必 文化人類学	2		F2				
	社会関係科目	選 必 日本国憲法	2	L2				必	
		選 必 経済入門	2	L2					
		選 必 現代社会の諸問題	2		L2				
	自然関係科目	選 必 国際関係を考える	2		F2				
		選 必 生物学	2	F2				(理生)	
		選 必 化学	2	F2				(理化)	
		選 必 数学	2	L2					
	総合教育科目	課題別科目	選 必 物理学	2	L2				(理物)
選 必 地学			2		F2			(理地)	
選 必 食料生産と自然環境(農学部)			2						
選 必 バイオテクノロジーと生活(応用生物科学部)			2						
全学共通		課題別科目	選 必 環境と人間(地域環境科学部)	2					
			選 必 世界の中の農(国際食料情報学部)	2					
			選 必 寒冷地の生物産業(生物産業学部)	2					
			選 必 特別講義(一)	2					
			選 必 特別講義(二)	2					
			選 必 特別講義(三)	2					
			選 必 特別講義(四)	2					
			選 必 インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2				
全学共通	英語科目	選 必 インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2					
		選 必 英語(一)	2	F2				必	
		選 必 英語(二)	2	L2					
		選 必 英語(三)	2		F2				
		選 必 英語(四)	2		L2				
		選 必 英語リーディング(一)	2	F2					
		選 必 英語リーディング(二)	2	L2					
		選 必 TOEIC英語(一)	2			F2			
学部共通	初修外国語科目	選 必 TOEIC英語(二)	2		L2				
		選 必 英会話(一)	2	F2					
		選 必 英会話(二)	2	L2					
		選 必 ビジネス英語	2			F2			
		選 必 科学英語	2			F2			
		選 必 中国語(一)	2	F2					
		選 必 中国語(二)	2	L2					
		選 必 ドイツ語(一)	2	F2					
学部共通	初修外国語科目	選 必 ドイツ語(二)	2	L2					
		選 必 フランス語(一)	2	F2					
		選 必 フランス語(二)	2	L2					
		選 必 スペイン語(一)	2	F2					
		選 必 スペイン語(二)	2	L2					

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
総合教育科目	全学共通	スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2				必
		スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2				必
		キャリアデザイン	1		L1			
		インターンシップ	1			1		
		ビジネスマナー	1			F1		
	学部共通	必 共通演習	1	L1				
		基礎生物学	2	F2				
		基礎化学	2	F2				
		基礎数学	2	L2				
		文章表現	2	L2				
専門教育科目	専門共通科目	必 農学原論	2	F2				農
		環境科学	2			F2		理化
		生物化学	2		F2			理化
		動物福祉	2		L2			
		動物植物園論	2			L2		理生
		健康福祉概論	2	F2				
	学部専門	知 識 的 財 産 論	2			F2		
		実学的生命活用	2				1	
		農業と生態系	2			F2		農
		農業経営学	2			F2		農
	学際領域科目	植物生理生態学	2		L2			理生
		植物生長調節論	2			L2		理生
		生命科学	2			F2		理生
		分子生物学	2			L2		理生
		民族植物学	2			F2		
		自然再生技術論	2			F2		理生
		地球環境政策論	2			L2		
		実験計画法	2			F2		
		農業気象学	2		F2			理地
		必 作物生産学	2	F2				農
学科専門	必 土壌学	2	F2				農	
	必 植物栄養学	2		F2			理生	
	必 遺伝学	2	F2				理生	
	必 育種学	2	L2				理生	
	必 植物病理学	2	L2				理生	
	必 昆虫学	2	L2				理生	
	必 園芸学(一)	2	F2				農	
	必 園芸学(二)	2	L2				農	
	必 生物学実験	2		2			理生	
	必 農業実習(一)	2	2				農	
必 農業実習(二)	2		2			農		

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				一年次	二年次	三年次	四年次		
専門 学 科 専 門 教 育 科 目	専門基礎科目	農作業システム論	2	L2			農		
		資源植物論	2	F2			理生		
		雑草学	2		F2		農		
		農産物マーケティング論	2		L2		農		
	専門コア科目	必	植物防疫論	2		L2		理化	
			果樹園芸学	2	F2			農	
			果樹栽培論	2	L2			農	
			野菜園芸学	2	F2			農	
			野菜栽培論	2	L2			農	
			花卉園芸学	2	F2			農	
			花卉栽培論	2	L2			農	
			バイオナーサリー論	2	F2			理生	
			園芸環境植物学	2	F2			農	
			ポストハーベスト論	2	L2			農	
			必	園芸生産実験(一)	2		F4		農
				園芸機能開発実験(一)					
		必	園芸生産実験(二)	2		L4		農	
			園芸機能開発実験(二)						
		総合化科目	必	園芸生産演習(一)	4		F4		農
				園芸機能開発演習(一)					
	必		園芸生産演習(二)	4		L4		農	
			園芸機能開発演習(二)						
	必		園芸生産演習(三)	4			F4	農	
			園芸機能開発演習(三)						
必	園芸生産演習(四)		4			L4	農		
	園芸機能開発演習(四)								
必	卒業論文	4							

区分欄の必は必修科目、選必は選択必修科目を表す（空白は選択科目）。教職欄の○は、教職必修科目を表す。

卒業要件単位数			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
63単位	12単位	49単位以上	124単位以上

選択科目には次の単位を加算することができる。

・他学部聴講・他学科聴講・大学間履修・英語による専門教育プログラム・特別活動プログラムで修得した単位のうち30単位
リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

- 注) 1 週時間数欄のFは前学期配当科目、Lは後学期配当科目を表す。
2 総合教育科目の人間関係科目は4科目中から2科目を選び必修とする。
3 総合教育科目の社会関係科目は4科目中から2科目を選び必修とする。
4 総合教育科目の自然関係科目は5科目中から2科目を選び必修とする。
5 総合教育科目の初修外国語は在学中1ヶ国語のみ履修することができる。（複数の外国語の履修は認めない）
6 学科専門－専門基礎科目の「農業実習（一）」は夏季集中に開講する。
7 学科専門－専門基礎科目の「生物学実験」及び「農業実習（二）」は隔週で通年開講する科目である。
8 学科専門－専門コア科目の「実験（一）」・「実験（二）」は、各自が所属する専攻の実験科目を必修とする。
9 学科専門－総合化科目の「演習（一）」・「演習（二）」・「演習（三）」・「演習（四）」は、各自が所属する専攻の演習科目を必修とする。
10 園芸生産科学コースの学生は、農業生産科学コースの次の専門コア科目について、自コースの選択科目として履修することができる。

農学科 農業生産科学コース

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
専門 学 科 専 門 教 育 科 目	専門 コア 科目	食用作物学(一)	2	F2			農	
		食用作物学(二)	2	L2			農	
		工芸作物学	2	L2			農	
		草地・飼料作物学	2	L2			農	
		植物育種学	2	L2			農	
		植物工学	2	F2			理生	
		植物病原微生物学(一)	2	L2			理生	
		植物病原微生物学(二)	2		F2		理生	
		昆虫生態学	2		L2		理生	
		昆虫分類学	2	L2			理生	
		昆虫機能利用学	2		L2		農	

農学部 畜産学科

畜産

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
全学共通	導入科目	必 フレッシュマンセミナー	2	F2				
		必 情報基礎(一)	2	F2				必
		必 情報基礎(二)	2	L2				
学部共通	人間関係科目	選 生命倫理	2		L2			理生
		選 科学と哲学	2			F2		
		選 芸術	2	F2				
		選 文化人類学	2		F2			
	社会関係科目	選 日本国憲法	2	L2				必
		選 経済入門	2	L2				
		選 現代社会の諸問題	2		L2			
		選 国際関係を考える	2		F2			
	自然関係科目	選 生物学	2	F2				(理生)
		選 化学	2	F2				(理化)
		選 数学	2	L2				
		選 物理学	2	L2				(理物)
総合教育科目	課題別科目	食料生産と自然環境(農学部)	2					
		バイオテクノロジーと生活(応用生物科学部)	2					
		環境と人間(地域環境科学部)	2					
		世界の中の農(国際食料情報学部)	2					
		寒冷地の生物産業(生物産業学部)	2					
		特別講義(一)	2					
		特別講義(二)	2					
		特別講義(三)	2					
		特別講義(四)	2					
		インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2				
		インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L1				
		全学共通	英語科目	必 英語(一)	2	F2		
必 英語(二)	2			L2				
必 英語(三)	2				F2			
必 英語(四)	2				L2			
英語リーディング(一)	2			F2				
英語リーディング(二)	2			L2				
TOEIC英語(一)	2					F2		
TOEIC英語(二)	2					L2		
英会話(一)	2			F2				
英会話(二)	2				L2			
ビジネス英語	2						F2	
科学英語	2						F2	
学部共通	初修外国語科目	中国語(一)	2		F2			
		中国語(二)	2		L2			
		ドイツ語(一)	2		F2			
		ドイツ語(二)	2		L2			
		フランス語(一)	2		F2			
		フランス語(二)	2		L2			
		スペイン語(一)	2		F2			
		スペイン語(二)	2		L2			

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職			
				一年次	二年次	三年次	四年次				
総合教育科目	全学共通	スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2				必			
		スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2				必			
		キャリアデザイン	1		L1						
		インターンシップ	1			1					
		ビジネスマナー	1			F1					
		学部共通	演習科目	必 共通演習	1	L1					
				学部共通	リメディアル教育科目	基礎生物学	2	F2			
					基礎化学	2	F2				
					基礎数学	2	L2				
					文章表現	2	L2				
専門教育科目	学部専門	必 農学原論	2	F2			農				
		環境科学	2		F2		理化				
		生物化学	2	F2			理化				
		動物福祉	2		L2						
		動物園論	2		L2		理生				
		健康福祉概論	2	F2							
		心理学概論	2	L2							
		知的財産論	2		F2						
		学部専門	学際領域科目	実学的生命活用	2			1			
				農業と生態系	2		F2		農		
	農業経営学			2		F2		農			
	植物生理生態学			2		L2		理生			
	植物生長調節論			2		L2		理生			
	生命科学			2		F2		理生			
	分子生物学			2		L2		理生			
	民族植物学			2		F2					
	自然再生技術論			2		F2		理生			
	地球環境政策論			2		L2					
	学部専門	専門基礎科目	必 ★☆畜産概論	2	F2			農			
			必 ★☆動物解剖学	2	F2			理生			
必 ★動物発生学			2	F2			理生				
必 動物遺伝学			2	F2			理生				
必 化学実験			2	L4			理化				
必 ★生物学実験			2	L4			理生				
必 ☆生化学			2	L2			理化				
必 生物統計学			2		L2		理生				
必 ★畜産実習(一)			1	2			農				
必 ★畜産実習(二)			1		F2		農				
☆家畜論(牛)	2	F2			農						
☆家畜論(豚)	2	F2			農						
☆家畜論(綿山羊・馬)	2		L2		農						
☆家畜論(家禽)	2	F2			農						

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				一年次	二年次	三年次	四年次		
専門 学 科 目	専門基礎科目	実験動物学	2	F2				理生	
		動物生体機構学	2		L2			理生	
		☆家畜栄養学	2	L2				理生	
		家畜微生物学	2		F2			理生	
		☆草地学	2		F2			農	
		食品衛生学	2			L2		理生	
		★動物細胞工学	2			L2		理生	
		畜産関連法規	2			L2		農	
	生命科学分野の科目	必★☆☆家畜繁殖学(一)	2	F2				理生	
		必★☆☆家畜繁殖学(二)	2	L2				理生	
		★家畜人工授精論	2			F2		農	
		★家畜受精卵移植論	2			L2		理生	
		必★☆☆家畜育種学(一)	2	F2				理生	
		必★☆☆家畜育種学(二)	2	L2				理生	
		動物資源学	2		F2			理生	
		必☆家畜生理学(一)	2	F2				理生	
		必☆家畜生理学(二)	2	L2				理生	
		動物免疫学	2			F2		理生	
		動物生理化学	2			L2		理生	
		専門コア科目	必★家畜飼養学(一)	2	L2				農
			必★家畜飼養学(二)	2			F2		農
			☆飼料学	2	F2				農
			★☆☆家畜管理学	2	F2				農
	必☆畜産物利用学(一)		2	F2				農	
	必☆畜産物利用学(二)		2	L2				農	
	食品微生物学		2	L2				農	
	動物性食品機能学		2			F2		農	
	必☆家畜衛生学(一)		2	L2				農	
	必☆家畜衛生学(二)		2			F2		農	
	生産科学分野の科目	家畜臨床検査論	2			F2		理生	
		家畜疾病学	2			F2		農	
		必☆畜産マネジメント(一)	2	L2				農	
		必☆畜産マネジメント(二)	2			F2		農	
市場流通論		2			F2		農		
総合化科目		必畜産学実験実習・演習(一)	2	F4				農	
		必畜産学実験実習・演習(二)	2			2		農	
		必畜産学実験実習・演習(三)	2				2	農	
		必卒業論文	4						

区分欄の必は必修科目、選必は選択必修科目を表す(空白は選択科目)。教職欄の○は、教職必修科目を表す。

卒業要件単位数			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
73単位	12単位	39単位以上	124単位以上

選択科目には次の単位を加算することができる。

- ・他学部聴講・他学科聴講・大学間履修・英語による専門教育プログラム・特別活動プログラムで修得した単位のうち30単位
- リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

- 注) 1 週時間数欄のFは前学期配当科目, Lは後学期配当科目を表す。
- 2 総合教育科目の人間関係科目は4科目中から2科目を選び必修とする。
- 3 総合教育科目の社会関係科目は4科目中から2科目を選び必修とする。
- 4 総合教育科目の自然関係科目は5科目中から2科目を選び必修とする。
- 5 総合教育科目の初修外国語は在学中1ヶ国語のみ履修することができる。(複数の外国語の履修は認めない)
- 6 ★は、家畜人工授精師(家畜人工授精ならびに家畜体内受精卵移植及び家畜体内受精卵移植)に関わる講習会受講資格に必要な科目である。
- 7 ☆は、食品衛生管理者・食品衛生監視員の資格(いずれも任用資格)に必要な科目である。
☆の科目のうち選択科目は次の5科目群(①~⑤)のうち3科目群以上を必ず修得すること。
①家畜論(牛)・家畜論(豚)・家畜論(綿山羊・馬)・家畜論(家禽) ②家畜栄養学 ③飼料学 ④家畜管理学 ⑤草地学
- 8 学科専門-専門基礎科目の「畜産実習(一)」は集中で開講する。
- 9 学科専門-専門基礎科目の「畜産実習(二)」は研究室ごとに集中で開講する。
- 10 学科専門-専門基礎科目の「化学実験」・「生物学実験」は隔週で開講する。
- 11 学科専門-総合化科目の「畜産学実験実習・演習(二)」・「畜産学実験実習・演習(三)」は隔週で通年開講する科目である。

農学部 バイオセラピー学科

セラピー

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
全学共通	導入科目	必 フレッシュマンセミナー	2	F2				
		必 情報基礎(一)	2	F2				必
		必 情報基礎(二)	2	L2				
学部共通	人間関係科目	選 生命倫理	2		L2			理生
		選 科学と哲学	2			F2		
		選 芸術	2	F2				
		選 文化人類学	2		F2			
		選 日本国憲法	2	F2				必
		選 経済入門	2	L2				
	社会関係科目	選 現代社会の諸問題	2		L2			
		選 国際関係を考える	2		F2			
		選 生物学	2	F2				(理生)
	自然関係科目	選 化学	2	F2				(理化)
		選 数学	2	L2				
		選 物理学	2	L2				(理物)
選 地学		2		L2			(理地)	
総合教育科目	全学共通	課題別科目	2					
		食料生産と自然環境(農学部)	2					
		バイオテクノロジーと生活(応用生物科学部)	2					
		環境と人間(地域環境科学部)	2					
		世界の中の農(国際食料情報学部)	2					
		寒冷地の生物産業(生物産業学部)	2					
		特別講義(一)	2					
		特別講義(二)	2					
		特別講義(三)	2					
		特別講義(四)	2					
		インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2				
		インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2				
全学共通	英語科目	必 英語(一)	2	F2				必
		必 英語(二)	2	L2				
		必 英語(三)	2		F2			
		必 英語(四)	2		L2			
		英語リーディング(一)	2	F2				
		英語リーディング(二)	2	L2				
		TOEIC英語(一)	2			F2		
		TOEIC英語(二)	2			L2		
		英会話(一)	2	F2				
		英会話(二)	2	L2				
		ビジネス英語	2				F2	
		科学英語	2				F2	
学部共通	初修外国語科目	中国語(一)	2		F2			
		中国語(二)	2		L2			
		ドイツ語(一)	2		F2			
		ドイツ語(二)	2		L2			
		フランス語(一)	2		F2			
		フランス語(二)	2		L2			
		スペイン語(一)	2		F2			
		スペイン語(二)	2		L2			

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
総合教育科目	全学共通	スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2				必
		スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2				必
		キャリアデザイン	1		L1			
		インターンシップ	1			1		
		ビジネスマナー	1			F1		
		必 共通演習	1	L1				
		リメディアル教育科目	2	F2				
		基礎化学	2	F2				
		基礎数学	2	L2				
		文章表現	2	L2				
専門教育科目	学部専門	必 農学原論	2	F2				農
		環境科学	2			F2		理化
		生物化学	2		F2			理化
		動物福祉	2		L2			
		動物植物園論	2			L2		理生
		健康福祉概論	2	F2				
		心理学概論	2	L2				
		知的財産論	2			F2		
		実学的生命活用	2				1	
		農業と生態系	2			F2		農
	農業経営学	2			F2		農	
	学際領域科目	植物生理生態学	2		L2			理生
		植物生長調節論	2			L2		理生
		生命科学	2			F2		理生
		分子生物学	2			L2		理生
		民族植物学	2			F2		
		自然再生技術論	2			F2		理生
		地球環境政策論	2			L2		
		必 バイオセラピー概論	2	F2				
		必 生物学実験	2		2			理生
必 化学実験		2	L4				理化	
学部専門	必 植物共生学	2	F2				理生	
	必 人間植物関係学	2	L2				理生	
	必 野生動物学	2	F2				理生	
	必 伴侶動物学	2	L2				理生	
	必 動物介在療法学(一)	2	L2					
	必 植物介在療法学(一)	2	F2					
	ボランティア論	2	F2					
	生物保全学	2		L2			理生	
	家畜生理・生体機構学	2		F2			農	
	遺伝学	2	F2				理生	
人体生理学	2		L2					

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				一年次	二年次	三年次	四年次		
専門教育科目	専門基礎科目	生物統計学	2		F2			理生	
		生物環境関係法規	2			L2			
		家畜行動心理学	2			L2		農	
		子どもの発達と生き物	2	L2					
		必 農業実習(一)	2	F4				農	
		必 農業実習(二)	2	L4				農	
	植物共生分野の科目	専門コア科目	植物育成管理論	2		L2			理生
			植物地理学	2		L2			
			植物形態・分類学	2			L2		理生
			社会園芸学	2		F2			農
			都市園芸学	2		L2			農
			野菜・草花の育て方	2			L2		農
			果樹・樹木の育て方	2		L2			農
			ハーブの育て方	2		F2			農
			野生動物生態学	2	L2				理生
			世界の動物	2			L2		
			動物形態・分類学	2			F2		理生
			伴侶動物ブリーディング論	2			F2		理生
			家畜管理学	2		F2			農
			家畜栄養学	2		F2			農
	生物介在療法分野の科目	専門コア科目	植物介在療法学(二)	2		L2			
			園芸植物活用法	2			F2		農
			動物介在療法学(二)	2		F2			
			心理臨床・教育と動物	2		L2			
			介在療法動物論	2	L2				
			リハビリテーション医学概論	2		L2			
			社会福祉概論	2		L2			
			療法の場の設計	2		F2			
			生物介在療法評価法	2		L2			
			看護・介護概論	2	F2				
総合化科目	専門コア科目	必 分野別基礎実験・実習	2		2				
		必 分野別実験・実習・演習	6			6			
		必 分野別応用実験・実習・演習	6				6		
		必 卒業論文	4						

区分欄の必は必修科目，選必は選択必修科目を表す（空白は選択科目）。
教職欄の○は，教職必修科目を表す。

卒業要件単位数			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
55単位	12単位	57単位	124単位以上

選択科目には次の単位を加算することができる。
・他学部聴講・他学科聴講・大学間履修・英語による専門教育プログラム・特別活動プログラム・植物介在療法特別カリキュラムで修得した単位のうち，30単位まで
リメディアル教育科目の修得単位は，卒業要件単位に含めない。

- 注) 1 週時間数欄のFは前学期配当科目，Lは後学期配当科目を表す。
2 総合教育科目の人間関係科目は4科目中から2科目を選び必修とする。
3 総合教育科目の社会関係科目は4科目中から2科目を選び必修とする。
4 総合教育科目の自然関係科目は5科目中から2科目を選び必修とする。
5 総合教育科目の初修外国語は在学中1ヶ国語のみ履修することができる。（複数の外国語の履修は認めない）
6 学科専門－専門基礎科目の「農業実習（二）」は一部を集中で開講する。
7 学科専門－専門基礎科目の「生物学実験」と総合化科目の「分野別基礎実験・実習」は隔週で通年開講する科目である。
8 学科専門－総合化科目の「分野別実験・実習・演習」・「分野別応用実験・実習・演習」は隔週で通年開講する科目である。

セラピー

農学部

植物介在療法特別カリキュラム

セラピー

1. カリキュラム設置の目的

時代の急激な変化や諸々の社会問題は、人々に大きなストレスや焦燥感を与え、現代社会では、こころに関係する病が増加しています。一方、生き物は人々の心を和ませ、安らぎや快感、活力、生気を与え、交流の場を創り出します。そこで、これまでの経済主導型の農学ではなく、人々の心身の健康の回復や維持・増進、さらには癒しなど、新たな生き物の役割が注目され始めました。高齢者や障害者のほか、療法的支援を必要とする人々を対象とした、生き物の療法的活用（生物介在療法）が全国各地の福祉施設や医療機関で注目され、その専門家の育成が早急に望まれています。

このような社会状況をうけ、本特別カリキュラムでは、医療・福祉・教育分野で活躍できる、植物を活用した生物介在療法で社会で啓蒙・普及実践できる人材を育成することが目的です。

植物介在療法分野においては、日本園芸療法学会と連携し、学会認定資格（認定登録園芸療法士、専門認定登録園芸療法士）取得のための教育体制を整備しています。

2. 内容

療法的支援が必要な方は、各々に医学的疾患、障害の種類・程度もさまざまです。そのうえ、個々に異なる人生観・生活背景があるため、園芸療法士は個々の対象者と対面しながら、固有の状況、状態、情報を統合し、現実のなかで実践的に問題を解決する能力が必要となります。本カリキュラムは、学内教育および学外実習で構成しており、学生は、園芸療法分野、園芸学分野、医療・福祉分野・マネジメント分野を学際的に学び、その学んだことを社会で実践するために学外実習へ臨みます。

学外実習では、高齢者福祉施設、精神科医療施設、小児医療施設などの関連施設で実際に専門認定登録園芸療法士から指導を受け、学生自らが対象者の方や社会問題と向き合います。学外実習で得た新たな知識や課題は、学内教育で整理して学び直し、新たな目的をもって次の実習へ臨みます。このように、学内教育と学外実習を連動して実施することにより、柔軟な思考と的確な問題解決の力を育む教育カリキュラムを提供しています。

3. 開講科目

植物介在療法特別カリキュラム	授業科目	単位数	配当学年	配当学期	授業科目	単位数	配当学年	配当学期
	医学一般	2	3	F	カウンセリング論	2	3	L
	人間生物関係の精神医学	2	3	F	生物によるリハビリテーション	2	3	L
	生き物による作業療法	2	3	F	療法用植物の栽培	2	3	L
	植物のふやし方	2	3	F	コミュニケーション論	2	3	L
	医療・福祉政策	2	3	F	園芸療法実習（三）	2	3	L
	園芸療法実習（一）	2	3	F	園芸療法実習（二）	2	4	T
組織マネジメント論	2	3	F					

※配当科目学期欄のFは前学期、Lは後学期、Tは通年配当科目を表します。

4. 本カリキュラムの特色

1) 開講の対象

本カリキュラムは農学部バイオセラピー学科の学生を対象としたカリキュラムで、開講学年は3・4年次となります。

2) 受講の条件について

原則として学科開講の基礎科目（下記9科目）を2年次までに修得していることが条件となります。ただし、正当な理由（編入生、教職課程の授業と重なるなど）により、すべての単位が履修できていない学生、他学科・他学部で関連基礎科目をすでに習得している学生などは、条件により受講を認める場合があります。

【2年次までに修得しておくべき学科開講科目】

植物介在療法（一）、植物介在療法（二）、生物介在療法評価法、看護・介護概論、リハビリテーション医学概論、社会福祉概論、健康福祉概論、心理学概論、療法の場の設計

3) 授業の開講について

各講義科目（関係科目）は、原則として各学期で週1時限（1コマ90分）開講の2単位です。園芸療法実習を除き厚木キャンパスで開講します。

4) 実習について

園芸療法実習は、3年次の短期実習と4年次の長期実習で構成されています。

①短期実習（3年次）

園芸療法実習（一）：医療・福祉施設での短期実習および園芸療法基礎実習

園芸療法実習（三）：医療・福祉施設での短期実習および評価実習

②長期実習（4年次）

園芸療法実習（二）：医療・福祉施設での長期実習（30日間×2施設）

【注意事項】

4年次の長期実習を受講するためには、植物介在療法特別カリキュラムの3年次開講科目をすべて修得していることが条件となります。なお、実習先と期間は、学生の適性や希望を考慮したうえで決定します。実習前に実施する個別面談や実習オリエンテーションに不参加の場合は、受講できない場合があります。

5) 修得単位数について

本カリキュラムによる修得単位は、他学科・他学部聴講により修得した単位との合計修得単位のうち30単位までを選択科目として卒業要件単位に加えることができます。

6) その他

園芸療法実習（一）、（二）、（三）にかかる交通費は、実習生負担となります。なお、長期実習には実習先に支払う委託管理費（実習指導料）がかかります。また、長期実習先が遠隔地の場合は宿舎が利用できますが、利用料は実習受入施設によって異なります。

科目名	実習地	委託管理費（実習指導料）	施設利用料（宿舎利用料）	生活費・光熱水費
園芸療法実習（一）	東京都・神奈川県	—	—	—
園芸療法実習（二）	神奈川県・愛知県など	400円/日×30日×2施設	10,000～15,000円/月	実費
園芸療法実習（三）	東京都・神奈川県	—	—	—

* 上記は2012年現在の実習指導料および施設利用料です。金額は年度によって多少変動する場合があります。

5. 園芸療法士の資格取得について

バイオセラピー学科で所定の単位と本カリキュラムを修得し、日本園芸療法学会が定める学会所属年数を満たすことで、日本園芸療法学会「認定登録園芸療法士」の受験資格が得られます。認定登録園芸療法士とは、園芸療法に必要とされる、園芸療法、園芸、医療、福祉、マネジメントの分野での、一定水準の知識と技術を持ち、対象者の全人的QOLの向上に関わることのできる者です（日本園芸療法学会ホームページ）。

なお、「専門認定登録園芸療法士」の受験資格には、5分野78単位（園芸療法10単位、園芸学関連40単位、医療関連20単位、福祉4単位、マネジメント4単位）の修得が必要となります。資格取得をめざす人は4年間で必要単位を取得するように各自で計画してください。高度な知識と技術を習得するために、卒業後2,000時間の実務経験（バイオセラピー学専攻博士前期課程の演習などで対応可能）を経る必要があります。

なお、資格認定基準は変更になる可能性があります。資格取得をめざす学生は、日本園芸療法学会ホームページ

<http://www.jhta2008.join-us.jp/index.html> を参照してください。

6. 履修上の注意事項

本カリキュラムは農学部バイオセラピー学科の学生を対象とします。他学部・他学科の学生は履修できません。

応用生物科学部 バイオサイエンス学科

バイオ

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
全学共通	導入科目	必 フレッシュマンセミナー	2	F2				
		必 情報基礎(一)	2	F2				必
必 情報基礎(二)		2	L2					
学部共通	人間関係科目	必 生命倫理	2	L2				
		選 科学と哲学	2	F2				
		必 農と科学の歴史	2	L2				
		必 心の構造	2	L2				
	社会関係科目	選 日本国憲法	2		F2			必
		選 法と社会	2		F2			
		選 経済入門	2		L2			
		選 現代の環境問題	2		L2			
	自然関係科目	必 生物学	2	F2				理生
		選 化学	2	F2				(理化)
選 物理学		2	L2				(理物)	
必 地学		2	L2				(理地)	
必 統計学		2	L2					
総合教育科目	課題別科目	食料生産と自然環境(農学部)	2					
		バイオテクノロジーと生活(応用生物科学部)	2					
		環境と人間(地域環境科学部)	2					
		世界の中の農(国際食料情報学部)	2					
		寒冷地の生物産業(生物産業学部)	2					
		特別講義(一)	2					
		特別講義(二)	2					
		特別講義(三)	2					
		特別講義(四)	2					
		国際ナショナル・スタディーズ(一)	2	F2				
	国際ナショナル・スタディーズ(二)	2	L2					
	全学共通	必 英語(一)	2	F2				必
		必 英語(二)	2	L2				
		必 英語(三)	2		F2			
		必 英語(四)	2		L2			
英語科目		英語リーディング(一)	2		F2			
学部共通	初修外国語関係科目	中国語(一)	2	F2				
		中国語(二)	2	L2				
		スペイン語(一)	2	F2				
		スペイン語(二)	2	L2				

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
総合教育科目	全学共通	スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2				必
		スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2				必
		キャリアデザイン	1		F1			
		インターンシップ	1			L1		
		ビジネスマナー	1		F1			
	学部共通	必 共通演習	1	L1				
		基礎生物学	2	F2				
		基礎化学	2	F2				
		生命科学	2					
		基礎化学	2	F2				
専門教育科目	学部専門	専門共通科目	2			L2		理生
		環境科学	2			L2		
		御座程習	2			L2		
		進化論	2		F2			農
		起業論	2			L2		
		知的財産概論	2			L2		
		生産経営概論	2			L2		農
		食品工学概論	2			F2		
		生物工学概論	2			L2		
		バイオプロセス工学概論	2			F2		農
	専門教育科目	機器分析学概論	2			F2		
		科学メディア論	2			L2		
		必 無機化学	2	F2				理化
		必 有機化学	2	F2				理化
		必 生物統計学	2	F2				
		必 細胞生物学	2	L2				理生
		必 分子生物学概論	2	L2				農
		必 生化学	2	L2				理化
		必 生物物理化学	2	L2				理化
		必 分子生物学(一)	2		F2			農
必 食品化学	2		F2			農		
専門基礎科目	必 無機化学実験	3		F6			理化	
	必 有機化学実験	3		F6			理化	
	必 分子生物学(二)	2		L2			農	
	必 微生物学実験	3		L6			理生	
	必 生化学実験	3		L6			理化	
	必 基礎生物学実験(一)	3		L6			理生	
	必 基礎生物学実験(二)	3		F6			理生	
	必 バイオサイエンス専攻実験(一)	3		F6			理生	
	必 バイオサイエンス専攻実験(二)	2		L4				
	必 英語論文講読	2		L2				

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				一年次	二年次	三年次	四年次		
専門 教育 科目	専門 基礎 科目	数 学	2	F2					
		分 子 遺 伝 学	2			F2		農	
		食 品 製 造 学	2		L2			農	
		アイソトープ利用論	2			F2			
		生 命 情 報 科 学	2			F2			
		生 物 制 御 学	2			L2			
		生 体 制 御 学	2			L2			
			食 品 加 工 実 習	1			F2		
	学 科 専 門 専 門 コ ア 科 目	必	微 生 物 学	2	F2				
		必	微 生 物 工 学	2	L2			農	
		必	食 品 衛 生 学	2			L2	農	
		必	植 物 生 理 学	2	F2			理生	
		必	植 物 細 胞 工 学	2	L2			農	
		必	生 物 資 源 環 境 科 学	2	F2			農	
		必	動 物 生 理 学	2	F2			理生	
		必	動 物 細 胞 工 学	2	L2			農	
		必	栄 養 生 化 学	2			L2	農	
		必	生 物 有 機 化 学	2	L2			理化	
		必	生 体 高 分 子 化 学	2		L2		農	
				微生物バイオテクノロジー	2			F2	農
				植 物 生 物 学	2	L2			
			動 物 発 生 工 学	2			F2	農	
			実 験 動 物 学	2			L2	農	
			免 疫 学	2			F2		
	総 合 科 目	必	卒 業 論 文	4				4	

区分欄の必は必修科目，選必は選択必修科目を表す（空白は選択科目）。
教職欄の○は，教職必修科目を表す。

卒業要件単位数			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
90単位	8単位以上	26単位以上	124単位以上

選択科目には次の単位を加算することができる。
・他学部聴講・他学科聴講・大学間履修・英語による専門教育プログラム・特別活動プログラムで修得した単位のうち30単位
リメディアル教育科目の修得単位は，卒業要件単位に含めない。

- 注) 1 週時間数欄のFは前学期配当科目，Lは後学期配当科目を表す。
2 総合教育科目の人間関係分野の科目は，選択必修科目の3科目中から1科目を選び必修とする。
3 総合教育科目の社会関係分野の科目は，4科目中から2科目を選び必修とする。
4 総合教育科目の自然関係分野の科目は，選択必修科目の4科目中から1科目を選び必修とする。
5 総合教育科目の初修外国語は，在学中1ヶ国語のみ履修することができる（複数の外国語の履修は認めない）。

応用生物科学部 生物応用化学科

化学

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
全学共通	導入科目	必 フレッシュマンセミナー	2	F2				
		必 情報基礎(一)	2	F2				必
学部共通	人間関係科目	必 情報基礎(二)	2	L2				
		必 生命倫理	2	L2				
学部共通	選必	必 科学と哲学	2	F2				
		必 農と科学の歴史	2	L2				
学部共通	選必	必 心の構造	2	L2				
		必 日本国憲法	2		F2			必
学部共通	選必	必 法と社会	2		F2			
		必 経済入門	2		L2			
学部共通	選必	必 現代の環境問題	2		L2			
		必 生物学	2	F2				理生
学部共通	選必	必 化学	2	F2				(理化)
		必 物理学	2	L2				(理物)
学部共通	選必	必 地理学	2	L2				(理地)
		必 統計学	2	L2				
学部共通	選必	必 食料生産と自然環境(農学部)	2					
		必 バイオテクノロジーと生活(応用生物科学部)	2					
学部共通	選必	必 環境と人間(地域環境科学部)	2					
		必 世界の中の農(国際食料情報学部)	2					
学部共通	選必	必 寒冷地の生物産業(生物産業学部)	2					
		必 特別講義(一)	2					
学部共通	選必	必 特別講義(二)	2					
		必 特別講義(三)	2					
学部共通	選必	必 特別講義(四)	2					
		必 インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2				
学部共通	選必	必 インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2				
		必 英語(一)	2	F2				必
学部共通	選必	必 英語(二)	2	L2				
		必 英語(三)	2		F2			
学部共通	選必	必 英語(四)	2	L2				
		必 英語リーディング(一)	2	F2				
学部共通	選必	必 英語リーディング(二)	2	L2				
		必 TOEIC英語(一)	2	F2				
学部共通	選必	必 TOEIC英語(二)	2	L2				
		必 英会話(一)	2	L2				
学部共通	選必	必 英会話(二)	2		F2			
		必 ビジネス英語	2			F2		
学部共通	選必	必 科学英語	2		L2			
		必 中国語(一)	2	F2				
学部共通	選必	必 中国語(二)	2	L2				
		必 スペイン語(一)	2	F2				
学部共通	選必	必 スペイン語(二)	2	L2				

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
総合教育科目	全学共通	スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2				必
		スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2				必
総合教育科目	学部共通	キャリアデザイン	1		F1			
		インターンシップ	1			L1		
総合教育科目	学部共通	必 ビジネスマナー	1		F1			
		必 共通演習	1	L1				
総合教育科目	学部共通	基礎生物	2	F2				
		基礎化学	2	F2				
専門教育科目	学部専門	専門共通科目	2			L2		理生
		環境科学	2			L2		
専門教育科目	学部専門	必修科目	2			L2		
		食育コース	2			L2		
専門教育科目	学部専門	進化論	2	F2			農	
		起業論	2		L2			
専門教育科目	学部専門	知的財産概論	2		L2			
		生産経営概論	2		L2		農	
専門教育科目	学部専門	食品工学概論	2		L2		農	
		生物工学概論	2	L2			理生	
専門教育科目	学部専門	バイオプロセス工学概論	2		F2			
		機器分析学概論	2		F2		理化	
専門教育科目	学部専門	科学メディア論	2		L2			
		必 無機化学(一)	2	F2			理化	
専門教育科目	学部専門	必 無機化学(二)	2	L2			理化	
		必 有機化学(一)	2	F2			理化	
専門教育科目	学部専門	必 有機化学(二)	2	L2			理化	
		必 生物化学(一)	2	L2			理化	
専門教育科目	学部専門	必 生物化学(二)	2	F2			理化	
		必 分子生物学	2	F2			農	
専門教育科目	学部専門	必 細胞生物学	2	L2			農	
		必 微生物学	2	F2			理生	
専門教育科目	学部専門	必 食品化学(一)	2	F2			農	
		必 無機化学実験	3	L6			理化	
専門教育科目	学部専門	必 分析化学実験	3	L6			理化	
		必 有機化学実験	3	L6			理化	
専門教育科目	学部専門	必 生物化学実験	3	L6			理化	
		必 食品化学実験	3	L6			農	
専門教育科目	学部専門	必 微生物学実験	3	L6			理生	

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
専門学 教育専 科門 科目	専 門 学 科 目	必	生物有機化学	2		F2		理化
		必	環境化学	2		F2		理化
		必	土壌学	2			F2	農
		必	肥料・植物栄養学	2			F2	農
		必	植物生理学	2		L2		農
		必	応用微生物学	2			F2	理生
		必	栄養生理化学	2			F2	農
		必	食品製造学	2			F2	農
		必	食品衛生学	2			L2	農
			資源再生論	2	F2			農
			生態学概論	2	F2			
			食品化学(二)	2		L2		農
			実験データ解析概論	2			F2	
			食品製造実習	2			F4	農
			生物応用化学特論(一)	1			L1	農
			生物応用化学特論(二)	1			L1	農
			生物応用化学特論(三)	1			L1	理生
			生物応用化学特論(四)	1			L1	理化
			生物応用化学特論(五)	1			L1	農
			生物応用化学特論(六)	1			L1	農
			研究室演習(一)	2			F2	
			研究室演習(二)	2			L2	
			生物応用化学実験(応用微生物学実験)	2			F4	農
			生物応用化学実験(食料資源理化学実験)	2			F4	農
			生物応用化学実験(栄養生化学実験)	2			F4	農
		生物応用化学実験(生産環境化学実験)	2			F4	農	
	生物応用化学実験(植物生産化学実験)	2			F4	農		
	生物応用化学実験(生物制御化学実験)	2			F4	農		
	総合化科目	必	卒業論文	4			4	

区分欄の必は必修科目、選必は選択必修科目を表す(空白は選択科目)。教職欄の○は、教職必修科目を表す。

卒業要件単位数			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
79単位	8単位以上	37単位以上	124単位以上

選択科目には次の単位を加算することができる。
・他学部聴講・他学科聴講・大学間履修・英語による専門教育プログラム・特別活動プログラムで修得した単位のうち30単位
リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

- 注) 1 週時間数欄のFは前学期配当科目、Lは後学期配当科目を表す。
2 総合教育科目の人間関係分野の科目は、選択必修科目の3科目中から1科目を選び必修とする。
3 総合教育科目の社会関係分野の科目は、4科目中から2科目を選び必修とする。
4 総合教育科目の自然関係分野の科目は、選択必修科目の4科目中から1科目を選び必修とする。
5 総合教育科目の初修外国語は、在学中1ヶ国語のみ履修することができる(複数の外国語の履修は認めない)。
6 生物応用化学実験は、所属研究室担当実験の単位のみを修得すること(複数履修は認めない)。

応用生物科学部 醸造科学科

醸造

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
全学共通	導入科目	必 フレッシュマンセミナー	2	F2				
		必 情報基礎(一)	2	F2				必
		必 情報基礎(二)	2	L2				
学部共通	人間関係科目	必 生命倫理	2	F2				
		選 科学と哲学	2	F2				
		必 農と科学の歴史	2	L2				
		必 心の構造	2	L2				
	社会関係科目	選 日本国憲法	2		F2			必
		選 法と社会	2		F2			
		選 経済入門	2		L2			
	自然関係科目	必 現代の環境問題	2		L2			
		必 生物学	2	F2				理生
		選 化学	2	F2				(理化)
必 物理学		2	L2				(理物)	
必 地学		2	L2				(理地)	
必 統計学		2	L2					
総合教育科目	課題別科目	食料生産と自然環境(農学部)	2					
		バイオテクノロジーと生活(応用生物科学部)	2					
		環境と人間(地域環境科学部)	2					
		世界の中の農(国際食料情報学部)	2					
		寒冷地の生物産業(生物産業学部)	2					
		特別講義(一)	2					
		特別講義(二)	2					
		特別講義(三)	2					
		特別講義(四)	2					
	全学共通	インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2				
		インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2				
		必 英語(一)	2	F2				必
		必 英語(二)	2	L2				
		必 英語(三)	2		F2			
		必 英語(四)	2		L2			
		英語リーディング(一)	2		F2			
		英語リーディング(二)	2		L2			
		TOEIC英語(一)	2	F2				
英語科目	TOEIC英語(二)	2	L2					
	英会話(一)	2	L2					
	英会話(二)	2		F2				
	ビジネス英語	2			F2			
	科学英語	2			L2			
	学部共通	初修外国語関係科目	中国語(一)	2	F2			
			中国語(二)	2	L2			
			スペイン語(一)	2	F2			
			スペイン語(二)	2	L2			

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
総合教育科目	全学共通	スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2				必
		スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2				必
		キャリアデザイン	1		F1			
		インターンシップ	1			L1		
		ビジネスマナー	1		F1			
	学部共通	必 共通演習	1	L1				
		基礎生物	2	F2				
		基礎化学	2	F2				
		生命科学	2			L2		理生
		環境科学	2			L2		
専門教育科目	学部専門	食育コース	2			L2		
		進化論	2		F2			
		起業論	2			L2		
		知的財産概論	2			L2		
		生産経営概論	2			L2		
		食品工学概論	2			F2		
		生物工学概論	2		L2			理生
		バイオプロセス工学概論	2			F2		
		機器分析学概論	2			F2		理化
	専攻領域科目	科学メディア論	2			L2		
		必 醸造微生物学	2	F2				理生
		必 微生物学実験	3	F6				理生
		必 分子生物化学	2			F2		理生
		必 発酵食品学	2		F2			理化
		必 食品化学実験	3		L6			理化
		必 生化学(一)	2		F2			理化
		必 生化学(二)	2		L2			理化
		必 アルコリックビバレッジ	2	L2				
専攻基礎科目	必 調味食品学	2		F2				
	必 醸造環境学	2	L2					
	必 一般化学	2	F2				理化	
	必 基礎化学実験	3	F6				理化	
	必 有機化学(一)	2	L2				理化	
	必 有機化学(二)	2		F2			理化	
	必 分析化学	2	L2				理化	
	バイオインフォマティクス	2			F2			
	飲酒生理学	2	L2					
	公衆衛生学	2		F2				
専攻専門	分子生物学実験	1			F2		理生	

応用生物科学部 栄養科学科(食品栄養学専攻)

栄養

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
全学共通	導入科目	必 フレッシュマンセミナー	2	F2				
		必 情報基礎(一)	2	F2				必
学部共通	人間関係科目	必 情報基礎(二)	2	L2				
		必 生命倫理	2	F2				
学部共通	社会関係科目	選 科学と哲学	2	F2				
		選 農と科学の歴史	2	L2				
学部共通	社会関係科目	選 心の構造	2	L2				
		選 日本国憲法	2	F2				必
学部共通	自然関係科目	選 法と社会	2	F2				
		選 経済入門	2	L2				
学部共通	自然関係科目	選 現代の環境問題	2	L2				
		必 生物学	2	F2				理生
学部共通	自然関係科目	選 化学	2	F2				(理化)
		選 物理学	2	L2				(理物)
学部共通	自然関係科目	選 地理学	2	L2				(理地)
		選 統計学	2	L2				
学部共通	自然関係科目	選 食料生産と自然環境(農学部)	2					
		選 バイオテクノロジーと生活(応用生物科学部)	2					
学部共通	自然関係科目	選 環境と人間(地域環境科学部)	2					
		選 世界の中の農(国際食料情報学部)	2					
学部共通	自然関係科目	選 寒冷地の生物産業(生物産業学部)	2					
		選 特別講義(一)	2					
学部共通	自然関係科目	選 特別講義(二)	2					
		選 特別講義(三)	2					
学部共通	自然関係科目	選 特別講義(四)	2					
		選 インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2				
学部共通	自然関係科目	選 インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2				
		必 英語(一)	2	F2				必
学部共通	自然関係科目	必 英語(二)	2	L2				
		必 英語(三)	2	F2				
学部共通	自然関係科目	必 英語(四)	2	L2				
		英語リーディング(一)	2	F2				
学部共通	自然関係科目	英語リーディング(二)	2	L2				
		TOEIC英語(一)	2	F2				
学部共通	自然関係科目	TOEIC英語(二)	2	L2				
		英会話(一)	2	L2				
学部共通	自然関係科目	英会話(二)	2	F2				
		ビジネス英語	2		F2			
学部共通	自然関係科目	科学英語	2		L2			
		中国語(一)	2	F2				
学部共通	自然関係科目	中国語(二)	2	L2				
		スペイン語(一)	2	F2				
学部共通	自然関係科目	スペイン語(二)	2	L2				

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
総合教育科目	全学共通	スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2				必
		スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2				必
総合教育科目	全学共通	キャリアデザイン	1	F1				
		インターンシップ	1		L1			
総合教育科目	全学共通	ビジネスマナー	1	F1				
		共通演習	1	L1				
総合教育科目	学部共通	基礎生物学	2	F2				
		基礎化学	2	F2				
総合教育科目	学部共通	生命科学	2			L2		理生
		環境科学	2			L2		
総合教育科目	学部共通	食育コース	2			L2		
		進化論	2	F2				
総合教育科目	学部共通	起業論	2			L2		
		知的財産概論	2			L2		
総合教育科目	学部共通	生産経営概論	2			L2		
		食品工学概論	2			L2		
総合教育科目	学部共通	生物工学概論	2			L2		
		バイオプロセス工学概論	2			F2		
総合教育科目	学部共通	機器分析学概論	2			F2		理化
		科学メディア論	2			L2		
総合教育科目	学部共通	※ 生化学(一)	2	F2				理化
		※ 生化学(二)	2	L2				理化
総合教育科目	学部共通	※ 解剖生理学	2	F2				理生
		※ 微生物学	2	F2				理生
総合教育科目	学部共通	※ 微生物学実験	2	L4				理生
		※ 有機化学	2	F2				理化
総合教育科目	学部共通	※ 無機化学	2	L2				理化
		※ 分析化学	2	L2				理化
総合教育科目	学部共通	※ 生体高分子学	2			L2		
		※ 生物有機化学	2			L2		
総合教育科目	学部共通	※ 分子生物学	2			L2		
		※ 公衆衛生学	2			L2		
総合教育科目	学部共通	※ 解剖生理学実験	2	L4				理生
		※ 運動生理学	2	F2				
総合教育科目	学部共通	※ 基礎栄養学実験	2	L4				理化
		※ 社会福祉論	2			L2		
総合教育科目	学部共通	★ 経営管理論	2			F2		

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
専門学 教育部 専攻科 科目	専攻科	必※★食品学総論	2	F2				
		必食品学各論	2	L2				
		必食品分析学実験	2	F4				理化
		必※★食品化学実験	2		L4			理化
		必食品機能学	2			L2		
		必※★食品加工学(一)	2	F2				
		必食品加工学(二)	2	L2				
		必★食品加工学実習	2	F4				
		必※★食品衛生学	2	L2				
		必※★食品衛生学実験	2			F4		
		必※★調理学	2	L2				
		必※★栄養学総論	2	F2				
		必栄養生理学	2	F2				理生
		必食品微生物学	2	F2				理化
		必※給食経営管理論	2	L2				
		※栄養学各論	2	L2				
		※分子栄養学	2			L2		
		※分子栄養学実験	2			F4		
		※臨床栄養学	2			F2		
		※臨床栄養学実習(一)	2			F4		
		※臨床栄養学実習(二)	2			L4		
		※栄養教育論(一)	2	L2				
		※栄養教育論(二)	2			F2		
		※栄養教育実習	2	L4				
		※公衆栄養学	2			F2		
		※公衆栄養学実習	2			F4		
		※給食経営管理実習	2			F4		
		※★調理学実習	2	F4				
		※事業所実習(校外実習を含む)	1			2		
	★フードコーディネータ論	2			F2			
★フードスペシャリスト論	2			F2				
★食品品質評価論	2			F2				
食品物性学	2	L2						
スポーツ栄養論	2			L2				
栄養疫学	2			L2				
総合科目	必	卒業論文	4				4	

区分欄の必は必修科目、選必は選択必修科目を表す(空白は選択科目)。教職欄の○は、教職必修科目を表す。

卒業要件単位数			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
77単位	8単位以上	39単位以上	124単位以上

選択科目には次の単位を加算することができる。
・他学部聴講・他学科聴講・大学間履修・英語による専門教育プログラム・特別活動プログラムで修得した単位のうち30単位
リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

- 注) 1 週時間数欄のFは前学期配当科目、Lは後学期配当科目を表す。
2 総合教育科目の人間関係分野の科目は、選択必修科目の3科目中から1科目を選び必修とする。
3 総合教育科目の社会関係分野の科目は、4科目中から2科目を選び必修とする。
4 総合教育科目の自然関係分野の科目は、選択必修科目の4科目中から1科目を選び必修とする。
5 総合教育科目の初修外国語は、在学中1ヶ国語のみ履修することができる(複数の外国語の履修は認めない)。
6 ※は、栄養士関係科目。
7 栄養士免許を取得するためには、栄養士関係科目を必修とする。
8 事業所実習は校外実習。
9 ★はフードスペシャリストの受験資格に必要な科目である。

栄養

応用生物科学部

応用生物科学部 栄養科学科(管理栄養士専攻)

管理

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
全学共通	導入科目	必 フレッシュマンセミナー	2	F2				
		必 情報基礎(一)	2	F2				必
		必 情報基礎(二)	2	L2				
学部共通	人間関係科目	必 生命倫理	2	F2				
		選 科学と哲学	2	F2				
		必 農と科学の歴史	2	L2				
		必 心の構造	2	L2				
	社会関係科目	選 日本国憲法	2		F2			必
		選 法と社会	2		F2			
		選 経済入門	2		L2			
	自然関係科目	必 現代の環境問題	2		L2			
		必 生物学	2	F2				理生
		選 化学	2	F2				(理化)
必 物理学		2	L2				(理物)	
		必 地理学	2	L2			(理地)	
総合教育科目	課題別科目	食料生産と自然環境(農学部)	2					
		バイオテクノロジーと生活(応用生物科学部)	2					
		環境と人間(地域環境科学部)	2					
		世界の中の農(国際食料情報学部)	2					
		寒冷地の生物産業(生物産業学部)	2					
		特別講義(一)	2					
		特別講義(二)	2					
		特別講義(三)	2					
		特別講義(四)	2					
		インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2				
	インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2					
	英語科目	必 英語(一)	2	F2				必
		必 英語(二)	2	L2				
		必 英語(三)	2		F2			
		必 英語(四)	2		L2			
		英語リーディング(一)	2		F2			
		英語リーディング(二)	2		L2			
		TOEIC英語(一)	2	F2				
TOEIC英語(二)		2	L2					
学部共通	初修外国語関係科目	中国語(一)	2	F2				
		中国語(二)	2	L2				
		スペイン語(一)	2	F2				
		スペイン語(二)	2	L2				

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
総合教育科目	全学共通	スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2				必
		スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2				必
		キャリアデザイン	1		F1			
		インターンシップ	1			L1		
		ビジネスマナー	1		F1			
	学部共通	必 共通演習	1	L1				
		基礎生物	2	F2				
		基礎化学	2	F2				
		生命科学	2			L2		理生
		環境科学	2			L2		
専門教育科目	学部専門	食育コース	2			L2		
		進化論	2		F2			
		起業論	2			L2		
		知的財産概論	2			L2		
		生産経営概論	2			L2		
		食品工学概論	2			L2		
		生物工学概論	2		L2			
		バイオプロセス工学概論	2			F2		
		機器分析学概論	2			F2		
		科学メディア論	2			L2		
	専攻基礎科目	必 ※☆生化学(一)	2	F2				理化
		必 ※☆生化学(二)	2	L2				理化
		必 ※☆解剖生理学	2	F2				理生
		必 ※☆解剖生理学実験	2	L4				理生
		必 有機化学	2	F2				理化
		必 分析化学	2	L2				理化
		必 ☆微生物学	2	F2				理生
		必 微生物学実験	2	L4				
専攻専門	必 ※☆公衆衛生学(一)	2			F2			
	必 ※☆公衆衛生学(二)	2			L2			
	必 ※☆健康管理概論	2			L2			
	※☆基礎栄養学実験	2	L4				理化	
	※☆運動生理学	2		F2			理生	
	※☆社会福祉論	2			L2			
	☆カウンセリング論	2			L2			
	☆病理学	2		L2				

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
専門 教育 科目	専 門 学 科 目	必 ※☆食品学総論	2	F2				
		必 食品学各論	2	L2				
		必 食品分析学実験	2	F4				
		必 ※☆食品化学実験	2		L4			理化
		必 食品機能学	2			L2		理化
		必 ※☆食品加工学	2	F2				
		必 ※☆食品衛生学	2	L2				
		必 ※☆食品衛生学実験	2			F4		
		必 ※☆調理学	2	L2				
		必 ※☆栄養学総論	2	F2				
		必 ※☆栄養生理学	2	F2				理化
		必 ※☆栄養教育論(一)	2	L2				
		必 ※☆臨床栄養学総論	2	F2				
		必 ※☆給食経営管理論	2	F2				
		☆ 食品加工学実習	2	F4				
		※☆調理学実習	2	F4				
		※☆ライフステージ栄養学(一)	2	L2				
		※☆ライフステージ栄養学(二)	2		F2			
		※☆応用栄養学	2		L2			
		☆ 応用栄養学実習	2		L4			
		※☆栄養教育論(二)	2		F2			
		※☆栄養教育実習	2	L4				
		☆ 臨床栄養学各論(一)	2	L2				
		☆ 臨床栄養学各論(二)	2		F2			
		※☆臨床栄養学実習(一)	2		F4			
		※☆臨床栄養学実習(二)	2		L4			
		☆ 臨床栄養管理学	2		L2			
		※☆公衆栄養学(一)	2		F2			
	※☆公衆栄養学(二)	2		L2				
	※☆公衆栄養学実習	2		F4				
	※☆給食経営管理実習	2		F4				
	※☆献立作成演習	2	L2					
※☆臨地実習(一)(校外実習を含む)	1				F2			
※☆臨地実習(二)(校外実習を含む)	3				F6			
総合 化 学 科 目	必 卒業論文	4				4		
	必 栄養管理学概論	2	F2					
	☆ 総合演習(一)	2				F2		
	☆ 総合演習(二)	2				L2		

区分欄の必は必修科目、選必は選択必修科目を表す(空白は選択科目)。教職欄の○は、教職必修科目を表す。

卒業要件単位数			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
75単位	8単位以上	41単位以上	124単位以上

選択科目には次の単位を加算することができる。
・他学部聴講・他学科聴講・大学間履修・英語による専門教育プログラム・特別活動プログラムで修得した単位のうち30単位
リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

- 注) 1 週時間数欄のFは前学期配当科目、Lは後学期配当科目を表す。
2 総合教育科目の人間関係分野の科目は、選択必修科目の3科目中から1科目を選び必修とする。
3 総合教育科目の社会関係分野の科目は、4科目中から2科目を選び必修とする。
4 総合教育科目の自然関係分野の科目は、選択必修科目の4科目中から1科目を選び必修とする。
5 総合教育科目の初修外国語は、在学中1ヶ国語のみ履修することができる(複数の外国語の履修は認めない)。
6 ※は、栄養士関係科目。
7 栄養士免許を取得するためには、栄養士関係科目を必修とする。
8 ☆は、管理栄養士関係科目。
9 管理栄養士国家試験の受験資格および栄養士免許を取得するためには、管理栄養士関係科目を必修とする。
10 臨地実習(一)・(二)は、校外実習。

管理

応用生物科学部

地域環境科学部 森林総合科学科

森林

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				一年次	二年次	三年次	四年次		
総合教育科目	全学共通	必	フレッシュマンセミナー	2	F2				
		必	情報基礎(一)	2	F2			必	
		必	情報基礎(二)	2	L2			技	
	学部共通	人間関係科目	選	技術者倫理	2		F2		
			選	哲学	2	F2			
			選	科学の歴史	2	L2			
			選	文学	2	L2			
			選	日本国憲法	2		L2		必
			選	現代社会と経済	2		F2		
		社会関係科目	選	地域と文化	2		L2		
			選	国際関係と社会問題	2		L2		
			選	生物学	2	F2			(理生)
			選	化学	2	F2			(理化)
		自然関係科目	選	物理学	2	L2			(理物)
			選	地学	2	F2			(理地)
			選	統計学	2		F2		
			選	食料生産と自然環境(農学部)	2				
			選	バイオテクノロジーと生活(応用生物科学部)	2				
			選	環境と人間(地域環境科学部)	2				
選	世界の農(国際食料情報学部)		2						
選	寒冷地の生物産業(生物産業学部)		2						
選	特別講義(一)		2						
選	特別講義(二)		2						
全学共通	課題別科目	選	特別講義(三)	2					
		選	特別講義(四)	2					
		選	インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2				
		選	インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2				
		選	英語(一)	2	F2			必	
		選	英語(二)	2	L2				
		選	英語(三)	2		F2			
		選	英語(四)	2		L2			
	英語科目	選	英語リーディング(一)	2	F2				
		選	英語リーディング(二)	2	L2				
		選	TOEIC英語(一)	2		F2			
		選	TOEIC英語(二)	2		L2			
		選	英会話(一)	2		F2			
		選	英会話(二)	2		L2			
学部共通	選	ビジネス英語	2			F2			
	選	科学英語	2		L2				
	選	中国語(一)	2	F2					
	選	中国語(二)	2	L2					
	選	ドイツ語(一)	2	F2					
	選	ドイツ語(二)	2	L2					

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				一年次	二年次	三年次	四年次		
総合教育科目	全学共通	スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2				必	
		スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2				必	
		キャリアデザイン	1		F1				
		インターンシップ	1			L1			
		ビジネスマナー	1		F1				
		演習科目	必	共通演習	1	L2			
			リメディアル教育科目	基礎生物学	2	F2			
			基礎化学	2	F2				
			基礎物理学	2	F2				
			基礎数学	2	F2				
	文章表現		2	F2					
	学部共通		必	地域環境科学概論	2	F2			農
		環境学習と体験活動	2		F2			農	
		地球環境と炭素循環	2	L2				理生	
		源流文化学	2		F2				
		学部専門	必	森林総合科学概論	2	F2			理生
			必	森林植物学	2	F2			農
			必	測量学	2	L2			農
			必	森林生態学	2		F2		理生
			必	森林保全学	2		F2		農
			必	造林学	2		L2		農
	必		林業工学	2		L2		技	
	必		森林経営学	2		L2		農	
	必		森林政策学	2		F2		農	
	必		林産化学	2		L2		理化	
	必		木材工学	2		F2		技	
	専門教育科目		専門基礎科目	植生学	2			F2	理生
★森林地形地質学				2	L2			理地	
★森林環境物理学				2		F2			
緑化工学				2			L2	技	
★森林立地学				2		F2		農	
専門コア科目			森林機械学	2			F2	農	
		樹木生理学	2	L2			理生		
		木材組織学	2	F2			技		
		★木材物理学	2	L2			理物		
		木材化学	2		F2		理化		
木材保存化学	2			L2		技			

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
総合 教育学 専 門 科 目	専 門 科 目	森林文化論	2	F2				
		★森林計画学	2			F2		農
		森林環境経済学	2			L2		
		外書講読	2				F2	
		★実験・調査計画法	2				F2	
		野生生物管理学	2		L2			理生
		樹病学	2		L2			農
		★治山工学	2			L2		農
		★森林水文学	2			F2		理地
		★森林情報学	2	L2				農
		★森林情報演習	1		L2			
		林木育種学	2		L2			理生
		森林アメニティ学	2		F2			
		森林昆虫学	2			F2		理生
		★森林土壌学	2			F2		農
		★森林土壌実習	2			L4		農
		造林樹木学	2			F2		
		森林作業システム学	2			L2		技
		きのこ学	2		F2			理生
		木質構造学	2			F2		技
	木材劣化生物学	2			F2		理生	
	木質バイオマス利用学	2			F2		理化	
	木質材料学	2			L2		技	
	建築設計製図法	2			L2		技	
	民有林経営論	2			L2		農	
	山村コミュニティー論	2			F2			
	森林教育学	2		F2			農	
	総合 化 科 目	必	森林学実験実習(一)	2	F4			農
必		森林学実験実習(二)	2	L4			農	
必		森林学実験実習(三)	2	F4			農	
必		森林学実験実習(四)	2	L4			農	
必		測量実習	2	F4			農	
必		演習林実習(一)	1	F2				
必		演習林実習(二)	2	L4				
必		専攻実験・実習(一)	2		F4		農	
必	専攻実験・実習(二)	2		L4		農		
必	卒業論文	4				4		

区分欄の必は必修科目、選必は選択必修科目を表す(空白は選択科目)。
教職欄の○は、教職必修科目を表す。

卒業要件単位数			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
60単位	12単位以上	52単位以上	124単位以上

選択科目には次の単位を加算することができる。
・他学部聴講・他学科聴講・大学間履修・英語による専門教育プログラム・特別活動プログラムで修得した単位のうち30単位
リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

- 注) 1 週時間数欄のFは前学期配当科目、Lは後学期配当科目を表す。
2 総合教育科目の人間関係分野の科目は、4科目の中から2科目を選び必修とする。
3 総合教育科目の社会関係分野の科目は、4科目の中から2科目を選び必修とする。
4 総合教育科目の自然関係分野の科目は、5科目の中から2科目を選び必修とする。
5 総合教育科目の初修外国語は、在学中1ヶ国語のみ履修することができる(複数の外国語の履修は認めない)。
6 卒業後に測量士補資格取得のための申請をする学生は、★の科目から14単位以上を修得する必要がある。
7 樹木医補の資格取得については「学生ポータル」を参照すること。

森林

地域環境科学部

地域環境科学部 生産環境工学科

工学

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				一年次	二年次	三年次	四年次		
全学共通	導入科目	必	フレッシュマンセミナー	2	F2				
		必	情報基礎(一)	2	F2			必	
		必	情報基礎(二)	2	L2			技	
学部共通	人間関係科目	選	技術者倫理	2		L2			
			哲学	2	F2				
		選	科学の歴史	2	L2				
			文学	2	L2				
			日本国憲法	2		L2		必	
			現代社会と経済	2		F2			
	社会関係科目	選	地域と文化	2		L2			
			国際関係と社会問題	2		L2			
			生物学	2	F2			(理生)	
		選	化学	2	F2			(理化)	
			物理学	2	L2			(理物)	
			地学	2	F2			(理地)	
総合教育科目	課題別科目		食料生産と自然環境(農学部)	2					
			バイオテクノロジーと生活(応用生物科学部)	2					
			環境と人間(地域環境科学部)	2					
			世界の農(国際食料情報学部)	2					
			寒冷地の生物産業(生物産業学部)	2					
			特別講義(一)	2					
			特別講義(二)	2					
			特別講義(三)	2					
			特別講義(四)	2					
			インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2				
			インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2				
		全学共通	必	英語(一)	2	F2			必
	英語(二)			2	L2				
	英語(三)			2		F2			
	英語(四)			2		L2			
	英語科目			英語リーディング(一)	2	F2			
				英語リーディング(二)	2	L2			
				TOEIC英語(一)	2		F2		
				TOEIC英語(二)	2		L2		
				英会話(一)	2		F2		
				英会話(二)	2		L2		
				ビジネス英語	2			F2	
				科学英語	2			L2	
	学部共通	初修外国語関係科目		中国語(一)	2	F2			
			中国語(二)	2	L2				
			ドイツ語(一)	2	F2				
			ドイツ語(二)	2	L2				

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				一年次	二年次	三年次	四年次		
総合教育科目	全学共通		スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2			必	
			スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2			必	
			キャリアデザイン	1		F1			
			インターンシップ	1			L1		
			ビジネスマナー	1		F1			
			共通演習	1	L2				
	学部共通	リメディアル教育科目		基礎生物学	2	F2			
				基礎化学	2	F2			
				基礎物理学	2	F2			
				基礎数学	2	F2			
				文章表現	2	F2			
				演習科目	必	共通演習	1	L2	
専門教育科目	学部専門		地域環境科学概論	2	F2			農	
			環境学習と体験活動	2		F2		農	
			地球環境と炭素循環	2	L2			理生	
			源流文化学	2		F2			
			専門共通科目	必	地域環境科学概論	2	F2		
			創生型習		環境学習と体験活動	2		F2	
	専門教育科目	学科専門		生産環境工学概論	2	F2			
				数学	2	F2			
				数学演習	2	F2			
				基礎力学	2	L2			理物
				基礎力学演習	2	L2			理物
				熱力学	2	L2			理物
			★応用数学	2	L2				
			★応用数学演習	2	L2				
			★土と水の環境	2	L2			理地	
			必	測量学	2		F2		農
			必	測量実習	2		F4		農
			必	応用測量学	2		L2		農
	必	生産環境工学基礎演習	1		F4				
	必	基礎実験	2		L4		技		
専門コア科目			作物栽培学	2		L2			
			地域資源利用学	2		F2		農	
		★	地形地質学	2		F2		理地	
			地域環境保全学	2		L2		農	
		★	農村計画学	2		F2		農	
			農地環境工学	2		L2		農	
			農村環境整備学	2		L2			
			土地改良学	2		L2		農	

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				一年次	二年次	三年次	四年次		
専門 教育 科目	専 門 学 科 ア リ コ ス	海外農業開発工学	2				F2	農	
		資源管理制度論	2				F2	農	
		★環境気象学	2	L2					理地
		★環境土壌物理学	2		F2				理物
		★土質力学	2		L2				理物
		★土質力学演習	2		L2				理物
		★情報処理工学	2		L2				理地
		★環境物理学	2			F2			理物
		★流域水文学	2			F2			理地
		★環境情報学	2			F2			技
		★地水工学	2			L2			農
		★環境リモートセンシング工学	2			L2			理地
		★構造力学	2		F2				理物
		★構造力学演習	2		F2				理物
		★土木材料学	2		F2				農
		★水理学	2		L2				理物
		★水理学演習	2		L2				理物
		鉄筋コンクリート工学	2		L2				技
		建設システム工学	2			F2			技
		土木施工法	2			F2			
		水利施設工学	2			F2			農
		環境土木学	2			L2			
		★河川工学	2				F2		農
		機械力学	2		L2				技
		エネルギー工学	2		F2				農
		生産機械情報工学	2		F2				農
		電気・電子工学	2		L2				技
	食品工学	2		L2					
	★計測・制御工学	2			F2			技	
	農業・建設機械学	2			F2			技	
	農産プロセス工学	2			F2			技	
	設計製図	2			L2			技	
	農業ロボット工学	2			L2			技	
生産環境工学特別演習	2			F2					
必	専攻実験	2		F4			農		
必	専攻演習(一)	2		L2			農		
必	専攻演習(二)	2			F2		農		
必	卒業論文	4				4			

区分欄の必は必修科目、選必は選択必修科目を表す（空白は選択科目）。
教職欄の○は、教職必修科目を表す。

卒業要件単位数			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
48単位	12単位以上	64単位以上	124単位以上

選択科目には次の単位を加算することができる。
・他学部聴講・他学科聴講・大学間履修・英語による専門教育プログラム・特別活動プログラムで修得した単位のうち30単位
リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

- 注) 1 週時間数欄のFは前学期配当科目、Lは後学期配当科目を表す。
2 総合教育科目の人間関係分野の科目は、4科目の中から2科目を選び必修とする。
3 総合教育科目の社会関係分野の科目は、4科目の中から2科目を選び必修とする。
4 総合教育科目の自然関係分野の科目は、5科目の中から2科目を選び必修とする。
5 総合教育科目の初修外国語は、在学中1ヶ国語のみ履修することができる（複数の外国語の履修は認めない）。
6 3年次より生産環境コース、生産基盤コース（JABEEコース）のいずれかを選択する。
7 生産環境コース、生産基盤コース（JABEEコース）については、生産環境工学ガイドを参照すること。
8 卒業後に測量士補資格取得のための申請をする学生は、★の科目から12単位以上を修得する必要がある。
9 編入生のコース選択については、生産環境工学ガイドを参照すること。

工学

地域環境科学部

地域環境科学部 造園科学科

造園

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職		
				一年次	二年次	三年次	四年次			
総合教育科目	全学共通	必	フレッシュマンセミナー	2	F2					
		必※	情報基礎(一)	2	F2			必		
		必※	情報基礎(二)	2	L2					
	学部共通	人間関係科目	選	技術者倫理	2		L2			
			選	哲学	2	F2				
			選	科学の歴史	2	L2				
			選	文学	2	L2				
		社会関係科目	選	日本国憲法	2		L2		必	
			選	現代社会と経済	2		F2			
			選	地域と文化	2		L2			
			選	国際関係と社会問題	2		L2			
		自然関係科目	選	生物学	2	F2			(理生)	
			選	化学	2	F2			(理化)	
			選	物理学	2	L2			(理物)	
			選	地学	2	F2			(理地)	
		総合教育科目	課題別科目		食料生産と自然環境(農学部)	2				
					バイオテクノロジーと生活(応用生物科学部)	2				
					環境と人間(地域環境科学部)	2				
					世界の中の農(国際食料情報学部)	2				
	寒冷地の生物産業(生物産業学部)			2						
	特別講義(一)			2						
	特別講義(二)			2						
	特別講義(三)			2						
	特別講義(四)			2						
	インターナショナル・スタディーズ(一)			2	F2					
	インターナショナル・スタディーズ(二)			2	L2					
全学共通	必			英語(一)	2	F2			必	
	必		英語(二)	2	L2					
	必		英語(三)	2		F2				
	必		英語(四)	2		L2				
	英語科目			英語リーディング(一)	2	F2				
				英語リーディング(二)	2	L2				
				TOEIC英語(一)	2		F2			
			TOEIC英語(二)	2		L2				
		英会話(一)	2		F2					
		英会話(二)	2		L2					
学部共通	初修外国語関係科目		中国語(一)	2	F2					
			中国語(二)	2	L2					
			ドイツ語(一)	2	F2					
			ドイツ語(二)	2	L2					

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職		
				一年次	二年次	三年次	四年次			
総合教育科目	全学共通		スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2			必		
			スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2			必		
			キャリアデザイン	1		F1				
			インターンシップ	1			L1			
			ビジネスマナー	1		F1				
	学部共通	必	共通演習	1	L2					
			基礎生物	2	F2					
			基礎化学	2	F2					
			基礎物理学	2	F2					
	学部専門	専門共通科目		基礎数学	2	F2				
				文章表現	2	F2				
				リメディアル教育科目						
				リメディアル教育科目						
		学部専門	必	地域環境科学概論	2	F2			農	
				環境学習と体験活動	2		F2		農	
				地球環境と炭素循環	2	L2			理生	
				源流文化学	2		F2			
			専門基礎科目	必※	造園科学概論	2	F2			農
				必※	造園体験演習	2	F2			
必※				環境デザイン基礎演習	2	L2			農	
必※				花・緑演習	2	L2				
必※				測量実習	2		F4		農	
必※				CAD及びGIS基礎演習	2		F2			
学部専門	専門コア科目		緑の経済論	2		F2				
			ランドスケープ作品論	2		F2		農		
		必※	近代造園史	2		L2				
		必※	造園計画学	2		L2		農		
		必※	都市緑地計画学	2			F2	農		
		必※	風景地計画学	2			F2	農		
		必※	日本庭園論	2			L2	農		
		必※	景觀論	2	L2					
			ランドスケープデザイン論	2			F2			
			自然保護論	2			L2	理地		
	観光計画論	2			L2					
	公園マネジメント論	2			L2					
	※都市および農村計画	2			L2					
	※ランドスケープ政策論	2			L2					
必※	植物の生活と活用	2	L2			理生				
必※	造園樹木学	2	L2			農				

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				一年次	二年次	三年次	四年次		
専門学 教育 科目	専門 コア 科目	必※ グラウンドカバープランツ	2		F2				
		必※ 緑地生態学	2		L2			理生	
		必※ 造園植栽学	2		L2			農	
			芝生論	2			F2		
			樹木の保護と管理	2			L2		理生
			緑地の生きもの	2			L2		理生
			植栽基盤論	2			L2		農
		必※ 造園工学	2			F2			農
		必※ 造園工学基礎演習	2		F4				
		必※ 造園施設材料	2		L2				農
		必※ 造園施工論	2			L2			農
	必※ 測量学	2		F2				農	
		※ 造園施設設計	2			L2			
	総合 化 科目	必※ 造園工学演習	4			F4			
		必※ 造園植栽演習	4		L4				
		必※ 造園総合演習	4			L4			
			専門特化演習(一)(植物学)	4			F4		理生
		選	専門特化演習(一)(都市緑化)	4			F4		
		必	専門特化演習(一)(自然再生)	4			F4		
			専門特化演習(一)(環境デザイン)	4			F4		
		選	専門特化演習(二)(植栽基盤)	4			L4		
			専門特化演習(二)(建築デザイン)	4			L4		
		必	※ 専門特化演習(二)(エンジニア)	4			L4		
		専門特化演習(二)(伝統技法)	4			L4			
必		※ 造園総合論	2			L2			
必	※ 卒業論文(卒業制作)	4				4			

区分欄の必は必修科目、選必は選択必修科目を表す(空白は選択科目)。教職欄の○は、教職必修科目を表す。

卒業要件単位数			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
75単位	20単位以上	29単位以上	124単位以上

選択科目には次の単位を加算することができる。
・他学部聴講・他学科聴講・大学間履修・英語による専門教育プログラム・特別活動プログラムで修得した単位のうち30単位
リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

- 注) 1 週時間数欄のFは前学期配当科目、Lは後学期配当科目を表す。
2 総合教育科目の人間関係分野の科目は、4科目の中から2科目を選び必修とする。
3 総合教育科目の社会関係分野の科目は、4科目の中から2科目を選び必修とする。
4 総合教育科目の自然関係分野の科目は、5科目の中から2科目を選び必修とする。
5 総合教育科目の初修外国語は、在学中1ヶ国語のみ履修することができる(複数の外国語の履修は認めない)。
6 「技術者倫理」は、必ず履修すること。「技術者倫理」の単位を修得しないとJABEEプログラム修了認定ができない。
7 樹木医補の資格取得については「学生ポータル」を参照すること。
8 ※は、造園環境情報コース対象科目。
9 専門特化演習(一)、専門特化演習(二)は4コースから1コースを選び必修とする。

国際食料情報学部 国際農業開発学科

開発

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				一年次	二年次	三年次	四年次		
総合教育科目	全学共通	必 フレッシュマンセミナー	2	F2					
		必 情報基礎(一)	2	F2				必	
		必 情報基礎(二)	2	L2					
	学部共通	人間関係科目	環 境 倫 理	2		F2			
			選 科 学 と 哲 学	2	F2				
			選 日 本 史	2	L2				
		選 農 と 科 学 の 歴 史	2		L2				
		社会関係科目	選 日 本 国 憲 法	2	L2				必
			選 法 学 入 門	2	F2				
	選 政 治 の し く み		2	F2					
	自然関係科目	選 必	生 物 学	2	F2				(理生)
			化 学	2	F2				(理化)
			数 学	2	L2				
			物 理 学	2	L2				(理物)
	全学共通	課題別科目	食料生産と自然環境(農学部)	2					
			バイオテクノロジーと生活(応用生物科学部)	2					
			環境と人間(地域環境科学部)	2					
			世界の中の農(国際食料情報学部)	2					
寒冷地の生物産業(生物産業学部)			2						
特 別 講 義(一)			2						
特 別 講 義(二)			2						
特 別 講 義(三)			2						
特 別 講 義(四)			2						
インターナショナル・スタディーズ(一)			2	F2					
インターナショナル・スタディーズ(二)		2	L2						
英語科目		必 英 語(一)	2	F2				必	
		必 英 語(二)	2	L2					
		必 英 語(三)	2	F2					
		必 英 語(四)	2	L2					
	英 語 リーディング(一)	2	F2						
学部共通	初修外国語関係科目	ス ペ イ ン 語(一)	2	F2					
		ス ペ イ ン 語(二)	2	L2					
		ス ペ イ ン 語(三)	2		F2				
		ス ペ イ ン 語(四)	2		L2				
		フ ラ ン ス 語(一)	2	F2					
	フ ラ ン ス 語(二)	2	L2						

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				一年次	二年次	三年次	四年次		
総合教育科目	学部共通	フ ラ ン ス 語(三)	2	F2					
		フ ラ ン ス 語(四)	2	L2					
		中 国 語(一)	2	F2					
		中 国 語(二)	2	L2					
		中 国 語(三)	2	F2					
		中 国 語(四)	2	L2					
		ブラジル・ポルトガル語(一)	2	F2					
		ブラジル・ポルトガル語(二)	2	L2					
		インドネシア語(一)	2	F2					
		インドネシア語(二)	2	L2					
		タ イ 語(一)	2	F2					
		タ イ 語(二)	2	L2					
		ハングル・韓国語(一)	2	F2					
		ハングル・韓国語(二)	2	L2					
	全学共通	スポーツ関係科目	ス ポー ツ ・ レ ク リ エー シ ョ ン(一)	1	F2				必
			ス ポー ツ ・ レ ク リ エー シ ョ ン(二)	1	L2				必
		就職準備科目	キ ャ リ ア デ ザ イ ン	1		F1			
			イ ン タ ー ナ シ ョ ン シ ョ ン	1			L1		
			ビ ジ ネ ス マ ナ ー	1		F1			
			必 演 習 科 目	必 共 通 演 習	1	L1			
	学部共通	リメディアル教育科目	基 礎 数 学	2	F2				
			基 礎 社 会	2	F2				
			文 章 表 現	2	F2				
	専門教育科目	専門共通科目	必 英 語(五)	2	F2				
必 英 語(六)			2	L2					
海 外 農 業 研 修			2			2		農	
植 物 と バ イ テ ク			2	L2				理生	
畜 産 学 概 論			2	F2				農	
経 済 経 営 の た め の 数 学			2	L2				農	
学部専門		創生型科目	山 村 地 域 再 生 ・ 活 性 化	2	F2				
			学 際 領 域 科 目	海 外 農 業 事 情 論	2	F2			農
		学際領域科目	食 農 教 育 論	2		F2			農

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				一年次	二年次	三年次	四年次		
専門基礎科目	必	国際農業開発学総論	2	F2				農	
	必	熱帯農業総論	2	F2				農	
	必	栽培学原論	2	F2				理生	
	必	熱帯作物学総論	2	L2				農	
	必	熱帯園芸学総論	2	L2				農	
			植物学	2	L2				理生
			熱帯食用作物学	2		F2			農
			熱帯野菜学	2		F2			農
			熱帯果樹学	2		L2			農
			熱帯工芸作物学	2			L2		農
			作物育種学	2			L2		理生
			熱帯生物資源論	2				F2	理生
			農業統計学	2		L2			農
	必		熱帯作物保護学総論	2	L2				理生
	必		保全生物学総論	2	F2				理生
	必		農業環境科学	2	F2				農
			環境概論	2	L2				
			作物病理学	2		F2			理生
			熱帯農業微生物学	2			F2		農
			作物害虫学	2		F2			理生
			熱帯昆虫生態学	2			F2		理生
			熱帯植物生態学	2	L2				理生
			水環境学	2			F2		理生
			熱帯土壌学	2		L2			農
	必		農業経済学	2	L2				農
	必		農業開発経済学	2		L2			農
			国際食料貿易論	2			L2		農
			国際フードシステム論	2		F2			
	必		地域農業開発論	2	L2				農
	必		農業・農村開発政策論	2		F2			農
	必		農業経営学	2		F2			農
	必		農業開発普及論	2		L2			農
必		農村開発社会学	2	F2				農	
		日本農業論	2	F2				農	
		農村開発調査論	2			L2		農	
		ファームステイ	2			L2		農	
		国際農業協力論	2				F2	農	
		プロジェクト評価論	2				F2	農	

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				一年次	二年次	三年次	四年次		
専門教育科目	総合科目	必	農学基礎実験	2		F4			農
		必	農業総合実習	2	4				農
		必	農業専門実習	2		2			農
		必	農業開発実習	2			4		農
		必	卒業論文演習(一)	2			F2		
		必	卒業論文演習(二)	2			L2		
		必	卒業論文	4				4	
			農学専門実験	2			F4		農
			ファームステイ	2		F4			農
			海外農業実習(一)	2			L4		農
			海外農業実習(二)	2			L4		農

区分欄の必は必修科目，選必は選択必修科目を表す（空白は選択科目）。教職欄の○は，教職必修科目を表す。

卒業要件単位数			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
65単位	12単位以上	47単位以上	124単位以上

選択科目には次の単位を加算することができる。

- ・他学部聴講・他学科聴講・大学間履修・英語による専門教育プログラム・特別活動プログラムで修得した単位のうち30単位
- リメディアル教育科目の修得単位は，卒業要件単位に含めない。

- 注) 1 週時間数欄のFは前学期配当科目，Lは後学期配当科目を表す。
- 2 総合教育科目の人間関係分野の科目は，4科目の中から2科目を選び必修とする。
- 3 総合教育科目の社会関係分野の科目は，4科目の中から2科目を選び必修とする。
- 4 総合教育科目の自然関係分野の科目は，5科目の中から2科目を選び必修とする。

開発

国際食料情報学部

国際食料情報学部 食料環境経済学科

経済

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				一年次	二年次	三年次	四年次		
総合教育科目	全学共通	必修	フレッシュマンセミナー	2	F2				
		必修	情報基礎(一)	2	F2			必	
		必修	情報基礎(二)	2	L2				
	学部共通	人間関係科目	選	環境倫理	2		F2		
			選	科学と哲学	2	F2			
			選	日本史	2	L2			(社地)
		社会関係科目	選	農と科学の歴史	2		L2		
			選	日本国憲法	2	L2			必
			選	法学入門	2	F2			(社公)
	自然関係科目	選	政治のしくみ	2	F2			社公	
		選	地理学	2		L2		(社地)	
		選	生物学	2	F2				
		選	化学	2	F2				
		選	数学	2	L2				
		選	物理学	2	L2				
全学共通	課題別科目		食料生産と自然環境(農学部)	2					
			バイオテクノロジーと生活(応用生物科学部)	2					
			環境と人間(地域環境科学部)	2				社地	
			世界の中の農(国際食料情報学部)	2					
			寒冷地の生物産業(生物産業学部)	2					
			特別講義(一)	2					
			特別講義(二)	2					
			特別講義(三)	2					
			特別講義(四)	2					
			インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2				
		インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2					
	英語科目	必	英語(一)	2	F2			必	
		必	英語(二)	2	L2				
		必	英語(三)	2	F2				
		必	英語(四)	2	L2				
		英語リーディング(一)	2		F2				
学部共通	初修外国語関係科目		スペイン語(一)	2	F2				
			スペイン語(二)	2	L2				
			スペイン語(三)	2		F2			
			スペイン語(四)	2		L2			
			フランス語(一)	2	F2				
		フランス語(二)	2	L2					
	英語科目		英語リーディング(二)	2		L2			
			TOEIC英語(一)	2		F2			
			TOEIC英語(二)	2		L2			
			英会話(一)	2			F2		
		英会話(二)	2			L2			
学部共通		ビジネス英語	2			F2			
		科学英語	2			L2			
		スペイン語(一)	2	F2					
		スペイン語(二)	2	L2					
		フランス語(一)	2	F2					

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				一年次	二年次	三年次	四年次		
総合教育科目	学部共通		フランス語(三)	2	F2				
			フランス語(四)	2	L2				
			中国語(一)	2	F2				
			中国語(二)	2	L2				
			中国語(三)	2	F2				
			中国語(四)	2	L2				
			ブラジル・ポルトガル語(一)	2	F2				
			ブラジル・ポルトガル語(二)	2	L2				
			インドネシア語(一)	2	F2				
			インドネシア語(二)	2	L2				
			タイ語(一)	2	F2				
			タイ語(二)	2	L2				
			ハングル・韓国語(一)	2	F2				
			ハングル・韓国語(二)	2	L2				
		全学共通	就職準備科目		スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2		
				スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2			必
				キャリアデザイン	1		F1		
				インターンシップ	1			L1	
				ビジネスマナー	1			F1	
	学部共通	演習科目	必	共通演習	1	L1			
				リメ	基礎数学	2	F2		
				基礎社会	2	F2			
				文章表現	2	F2			
				英	英語(五)	2	F2		
	専門教育科目	学部共通	必	英	英語(六)	2	L2		
			海外農業研修	2			2		
			植物とバイオテク	2	L2				
			畜産学概論	2	F2			農	
			経済経営のための数学	2	L2			農	
学部専門		創生型科目		経営学	2	F2			社公
				簿記・会計論	2	L2			
				山村地域再生・活性化	2	F2			
				海外農業事情論	2	F2			農
				食農教育論	2		F2		農

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
専門教育科目	学専基礎	必 基礎演習(一)	2	F2				農
		必 基礎演習(二)	2	L2				農
		必 フィールド研修(一)	2		L2			農
		必 ミクロ経済学(一)	2	F2				社公
		必 ミクロ経済学(二)	2	L2				社公
		必 マクロ経済学	2		F2			社公
		現代社会論	2		L2			社公
		公共経済学	2		L2			社公
		政治経済学	2		L2			社公
		社会調査とデータ解析	2			F2		社公
		民法(一)	2		F2			社公
		民法(二)	2		L2			社公
		商法	2			F2		社公
		行政学	2		F2			
		行政法	2			F2		社公

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				一年次	二年次	三年次	四年次		
食料経済コース									
専門教育科目	学専目	食料経済	必 食料政策論	2			L2		農
			必 食料流通論	2		F2			農
			必 食品マーケティング論	2		L2			農
			必 食品産業とアグリビジネス	2			F2		農
			環境政策論	2		L2			農
		環境経済	環境・地域社会学	2		L2			社公
			環境経済評価	2			F2		社地
			環境会計論	2			L2		社公
			都市経済論	2		L2			社地
			地域計画論	2			L2		社地
		都市・農村	農村社会学	2		F2			社公
			農村政策論	2			L2		農
			農業貿易論	2		F2			農
			アメリカ・EU農業経済論	2			L2		社地
			アジア農業経済論	2			L2		社地
国際農業・貿易	比較経済論	2		F2			社公		
	必 食料経済学	2		F2			農		
	必 環境経済学	2		F2			社公		
	食料環境経済学特別講義	2			F2				
	日本農業論	2	F2				農		
学専目	専門	農村経済論	2	L2				農	
		グローバル経済論	2	L2				社公	
		経済史	2	L2				社地	
		経済地理学	2	F2				社地	
		農業経営学	2		F2			農	
		農業史	2		F2			社地	
		農業法	2		F2			農	
		農業団体と協同組合	2			L2		農	
		食生活史	2		L2			社地	
		外食産業論	2			L2		社公	
		リサイクル経済論	2			F2		社公	
		食育と食生活論	2		L2				
		農村金融論	2			F2		農	
		食料資源経済論	2		L2			社地	
		食品関連技術	2			F2			
食品安全リスク論	2			L2					
環境技術とアセスメント	2			L2					
国際金融論	2			L2					
食品関係法	2			L2		農			
環境法	2			L2					
国際取引法と貿易実務	2			L2					
フィールド研修(二)	2			F2					
特別演習(一)	1		F1						
特別演習(二)	1		L1						
特別演習(三)	1			F1					
特別演習(四)	1			L1					

経済

国際食料情報学部

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
環境経済コース								
専門学 科 育 科 目	食料経済	食料政策論	2		L2		農	
		食料流通論	2	F2			農	
		食品マーケティング論	2	L2			農	
		食品産業とアグリビジネス	2		F2		農	
	環境経済	必 環境政策論	2	L2			農	
		必 環境・地域社会学	2	L2			社公	
		必 環境経済評価	2		F2		社地	
		必 環境会計論	2		L2		社公	
	都市・農村	都市経済論	2	L2			社地	
		地域計画論	2		L2		社地	
		農村社会学	2	F2			社公	
		農村政策論	2		L2		農	
	国際農業・貿易	農業貿易論	2	F2			農	
		アメリカ・EU農業経済論	2		L2		社地	
		アジア農業経済論	2		L2		社地	
		比較経済論	2	F2			社公	
	専門学 科 育 科 目	必 食料経済学	2	F2			農	
		必 環境経済学	2	F2			社公	
		食料環境経済学特別講義	2		F2			
		日本農業論	2	F2			農	
		農村経済論	2	L2			農	
		グローバル経済論	2	L2			社公	
		経済史	2	L2			社地	
		経済地理学	2	F2			社地	
		農業経営学	2	F2			農	
		農業史	2	F2			社地	
		農業法	2	F2			農	
		農業団体と協同組合	2		L2		農	
		食生活史	2	L2			社地	
		外食産業論	2		L2		社公	
		リサイクル経済論	2		F2		社公	
		食育と食生活論	2	L2				
農村金融論		2		F2		農		
食料資源経済論		2	L2			社地		
食品関連技術		2		F2				
食品安全リスク論		2		L2				
環境技術とアセスメント	2		L2					
国際金融論	2		L2					
食品関係法	2		L2		農			
環境法	2		L2					
国際取引法と貿易実務	2		L2					
フィールド研修(二)	2		F2					
特別演習(一)	1	F1						
特別演習(二)	1	L1						
特別演習(三)	1	F1						
特別演習(四)	1	L1						

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
都市・農村経済コース								
専門学 科 育 科 目	食料経済	食料政策論	2		L2		農	
		食料流通論	2	F2			農	
		食品マーケティング論	2	L2			農	
		食品産業とアグリビジネス	2		F2		農	
	環境経済	環境政策論	2	L2			農	
		環境・地域社会学	2	L2			社公	
		環境経済評価	2		F2		社地	
		環境会計論	2		L2		社公	
	都市・農村	必 都市経済論	2	L2			社地	
		必 地域計画論	2		L2		社地	
		必 農村社会学	2	F2			社公	
		必 農村政策論	2		L2		農	
	国際農業・貿易	農業貿易論	2	F2			農	
		アメリカ・EU農業経済論	2		L2		社地	
		アジア農業経済論	2		L2		社地	
		比較経済論	2	F2			社公	
	専門学 科 育 科 目	必 食料経済学	2	F2			農	
		必 環境経済学	2	F2			社公	
		食料環境経済学特別講義	2		F2			
		日本農業論	2	F2			農	
		農村経済論	2	L2			農	
		グローバル経済論	2	L2			社公	
		経済史	2	L2			社地	
		経済地理学	2	F2			社地	
		農業経営学	2	F2			農	
		農業史	2	F2			社地	
		農業法	2	F2			農	
		農業団体と協同組合	2		L2		農	
		食生活史	2	L2			社地	
		外食産業論	2		L2		社公	
		リサイクル経済論	2		F2		社公	
		食育と食生活論	2	L2				
農村金融論		2		F2		農		
食料資源経済論		2	L2			社地		
食品関連技術		2		F2				
食品安全リスク論		2		L2				
環境技術とアセスメント	2		L2					
国際金融論	2		L2					
食品関係法	2		L2		農			
環境法	2		L2					
国際取引法と貿易実務	2		L2					
フィールド研修(二)	2		F2					
特別演習(一)	1	F1						
特別演習(二)	1	L1						
特別演習(三)	1	F1						
特別演習(四)	1	L1						

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
国際農業・貿易コース								
専門 学 科 専 門 目	食料経済	食料政策論	2		L2		農	
		食料流通論	2	F2		農		
		食品マーケティング論	2	L2		農		
		食品産業とアグリビジネス	2		F2	農		
		環境政策論	2	L2		農		
		環境経済	環境・地域社会学	2	L2		社公	
			環境経済評価	2		F2	社地	
			環境会計論	2		L2	社公	
			都市経済論	2	L2		社地	
		都市・農村	地域計画論	2		L2	社地	
	農村社会学		2	F2		社公		
	農村政策論		2		L2	農		
	国際農業・貿易	必 農業貿易論	2	F2		農		
		必 アメリカ・EU農業経済論	2		L2	社地		
		必 アジア農業経済論	2		L2	社地		
	専 門 目	必 比較経済論	2	F2		社公		
		必 食料経済学	2	F2		農		
		必 環境経済学	2	F2		社公		
		食料環境経済学特別講義	2		F2			
		日本農業論	2	F2		農		
		農村経済論	2	L2		農		
		グローバル経済論	2	L2		社公		
		経済史	2	L2		社地		
		経済地理学	2	F2		社地		
		農業経営学	2	F2		農		
		農業史	2	F2		社地		
		農業法	2	F2		農		
		農業団体と協同組合	2		L2	農		
		食生活史	2	L2		社地		
		外食産業論	2		L2	社公		
		リサイクル経済論	2		F2	社公		
		食育と食生活論	2	L2				
農村金融論		2		F2	農			
食料資源経済論		2	L2		社地			
食品関連技術		2		F2				
食品安全リスク論	2		L2					
環境技術とアセスメント	2		L2					
国際金融論	2		L2					
食品関係法	2		L2	農				
環境法	2		L2					
国際取引法と貿易実務	2		L2					
フィールド研修(二)	2		F2					
特別演習(一)	1	F1						
特別演習(二)	1	L1						
特別演習(三)	1		F1					
特別演習(四)	1		L1					

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
専門 教育 科目	学 科 専 門 目	必 食料環境経済学演習(一)	2		F2		農	
		必 食料環境経済学演習(二)	2		L2		農	
		必 食料環境経済学演習(三)	2			F2		
		必 食料環境経済学演習(四)	2			L2		
		必 卒業論文演習(一)	1				F1	
		必 卒業論文演習(二)	1				L1	
		必 卒業論文	4				4	

区分欄の必は必修科目、選必は選択必修科目を表す(空白は選択科目)。教職欄の○は、教職必修科目を表す。

卒業要件単位数			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
57単位	12単位以上	55単位以上	124単位以上

1年次の後学期に4つのコースから1つのコースを選択する。その選択したコースのコース必修科目12単位は必ず修得しなければならない。
 選択科目には次の単位を加算することができる。
 ・自分の所属するコース以外のコース必修科目を履修し修得した単位
 ・他学部聴講・他学科聴講・大学間履修・英語による専門教育プログラム・特別活動プログラムで修得した単位のうち30単位
 リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

- 注) 1 週時間数欄のFは前学期配当科目、Lは後学期配当科目を表す。
 2 総合教育科目の人間関係分野の科目は、4科目中から2科目を選び必修とする。
 3 総合教育科目の社会関係分野の科目は、4科目中から2科目を選び必修とする。
 4 総合教育科目の自然関係分野の科目は、5科目中から2科目を選び必修とする。

国際食料情報学部 国際バイオビジネス学科

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				一年次	二年次	三年次	四年次		
総合教育科目	全学共通	必 フレッシュマンセミナー	2	F2					
		必 情報基礎(一)	2	F2				必	
		必 情報基礎(二)	2	L2				情	
	学部共通	人間関係科目	環 境 倫 理	2		F2			
			選 科 学 と 哲 学	2	F2				
			選 日 本 史	2	L2				(社)
			選 農 と 科 学 の 歴 史	2		L2			
		社会関係科目	選 日 本 国 憲 法	2	L2				必
			選 法 学 入 門	2	F2				(社)
			選 政 治 の し く み	2	F2				社
			選 地 理 学	2		L2			(社)
		自然関係科目	選 生 物 学	2	F2				
			選 化 学	2	F2				
	選 数 学		2	L2					
	選 物 理 学		2	L2					
	選 地 学		2		L2				
	英語科目	必	食料生産と自然環境(農学部)	2					
			バイオテクノロジーと生活(応用生物科学部)	2					
			環境と人間(地域環境科学部)	2					
世界の中の農(国際食料情報学部)			2						
寒冷地の生物産業(生物産業学部)			2						
特別講義(一)			2						
特別講義(二)			2						
特別講義(三)			2						
特別講義(四)			2						
インターナショナル・スタディーズ(一)			2	F2					
インターナショナル・スタディーズ(二)			2	L2					
必 英 語(一)			2	F2				必	
必 英 語(二)	2	L2							
必 英 語(三)	2	F2							
必 英 語(四)	2	L2							
学部共通	初修外国語関係科目	ス ペ イ ン 語(一)	2	F2					
		ス ペ イ ン 語(二)	2	L2					
		ス ペ イ ン 語(三)	2		F2				
		ス ペ イ ン 語(四)	2		L2				
		フ ラ ン ス 語(一)	2	F2					
		フ ラ ン ス 語(二)	2	L2					
		英 語 リ ー デ ィ ン グ(一)	2	F2					
		英 語 リ ー デ ィ ン グ(二)	2	L2					
		T O E I C 英 語(一)	2	F2					
		T O E I C 英 語(二)	2	L2					
英 会 話 (一)	2		F2						
英 会 話 (二)	2		L2						
ビ ジ ネ ス 英 語	2		F2						
科 学 英 語	2		L2						

ビジネス

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				一年次	二年次	三年次	四年次		
総合教育科目	学部共通	フ ラ ン ス 語(三)	2	F2					
		フ ラ ン ス 語(四)	2	L2					
		中 国 語(一)	2	F2					
		中 国 語(二)	2	L2					
		中 国 語(三)	2	F2					
		中 国 語(四)	2	L2					
		ブラジル・ポルトガル語(一)	2	F2					
		ブラジル・ポルトガル語(二)	2	L2					
		インドネシア語(一)	2	F2					
		インドネシア語(二)	2	L2					
		タ イ 語(一)	2	F2					
		タ イ 語(二)	2	L2					
		ハンブル・韓国語(一)	2	F2					
		ハンブル・韓国語(二)	2	L2					
	全学共通	スポーツ関係科目	ス ポ ー ツ ・ レ ク リ エ ー シ ョ ン(一)	1	F2				必
			ス ポ ー ツ ・ レ ク リ エ ー シ ョ ン(二)	1	L2				必
		就職準備科目	キ ャ リ ア デ ザ イ ン	1		F1			
			イ ン タ ー ナ シ ョ ン シ ョ ン	1			L1		
			ビ ジ ネ ス マ ナ ー	1			F1		
			演 習 科 目	必	共 通 演 習	1	L1		
	学部共通	リメディア教育科目	基 礎 数 学	2	F2				
		基 礎 社 会	2	F2					
		文 章 表 現	2	F2					
	専門教育科目	専門共通科目	必 英 語(五)	2	F2				
			必 英 語(六)	2	L2				
			海 外 農 業 研 修	2			2		
植 物 と バ イ テ ク			2	L2					
畜 産 学 概 論			2	F2				農	
経 済 経 営 の た め の 数 学			2	L2				農	
創生型科目		経 営 学	2	F2					
		簿 記 ・ 会 計 論	2	L2				情	
		山 村 地 域 再 生 ・ 活 性 化	2	F2					
		学際領域科目	海 外 農 業 事 情 論	2	F2				農
食 農 教 育 論	2			F2			農		

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
専門教育科目	基礎科目	必 国際バイオビジネス基礎演習(一)	2	F2				農
		必 国際バイオビジネス基礎演習(二)	1	L1				農
		必 国際バイオビジネス基礎演習(三)	2		F2			農
		必 国際バイオビジネス基礎演習(四)	2		L2			農
		必 バイオビジネス経済学(一)(ミクロ)	2	F2				社
		必 バイオビジネス経済学(二)(マクロ)	2	L2				社
		必 バイオビジネス経営学総論	2	F2				農
		必 バイオビジネスマーケティング論	2		F2			農
		必 バイオビジネス経営情報論	2	L2				情
		必 バイオビジネス環境論	2	L2				
		必 バイオビジネス経営実践論	2		L2			農
		必 バイオビジネス実地研修(一)	4	F4				農
		農業経営学	2	F2				農
		国際アグリビジネス論	2	L2				農
		国際有機農業論	2	F2				農
	専門科目	バイオビジネス統計学(一)	2	F2				
		バイオビジネス統計学(二)	2	L2				
		オペレーションズ・リサーチ	2		L2			情
		フードビジネス論	2	L2				農
		バイオビジネス組織論	2		F2			農
		バイオビジネス戦略論	2		F2			社
		ベンチャービジネス論	2			F2		社
		バイオビジネス経営管理論	2	F2				農
		マーケティングリサーチ	2		L2			農
		バイオビジネス経営学演習	2		F2			
		バイオビジネス財務会計論	2	L2				社
		バイオビジネス管理会計論	2		F2			社
		バイオビジネス経営分析論	2		L2			社
		バイオビジネスファイナンス論	2			F2		社
		バイオビジネス法	2		F2			社
情報分野	バイオビジネス会計学演習	2	L2					
	情報ネットワーク論	2	F2				情	
	プログラム言語(一)	2	F2				情	
	プログラム言語(二)	2	L2				情	
	情報監査論	2	L2				情	
	バイオビジネス情報システム論	2		F2			情	
	データベース論	2		F2			情	
	情報ビジネス論	2		L2				
	マルチメディア論	2		L2			情	
	基本情報処理演習(一)	2		L2			情	
基本情報処理演習(二)	2		L2			情		

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
専門教育科目	環境分野	環境保全論	2	F2				農
		地域生態論	2	F2				農
		環境ビジネス論	2			L2		社
		環境技術論	2			L2		
		環境マネジメント論	2	L2				社
		国際バイオビジネス普及論	2			L2		社
		地域資源管理システム論	2			F2		
		環境調査・分析演習	2			L2		
	総合化科目	バイオビジネス実地研修(二)	2			2		
		必 卒業論文演習(一)	2			F2		
		必 卒業論文演習(二)	2			L2		
		必 卒業論文演習(三)	1				F2	
		必 卒業論文演習(四)	1				L2	
		必 卒業論文	4					4

区分欄の必は必修科目、選必は選択必修科目を表す(空白は選択科目)。教職欄の○は、教職必修科目を表す。

卒業要件単位数			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
54単位	12単位以上	58単位以上	124単位以上

選択科目には次の単位を加算することができる。

- ・他学部聴講・他学科聴講・大学間履修・英語による専門教育プログラム・特別活動プログラムで修得した単位のうち30単位
- リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

- 注) 1 週時間数欄のFは前学期配当科目、Lは後学期配当科目を表す。
- 2 総合教育科目の人間関係分野の科目は、4科目の中から2科目を選び必修とする。
- 3 総合教育科目の社会関係分野の科目は、4科目の中から2科目を選び必修とする。
- 4 総合教育科目の自然関係分野の科目は、5科目の中から2科目を選び必修とする。

ビジネス

国際食料情報学部

英語による専門教育プログラム関係科目

(1) プログラム名

Special Program (Conducted in English) : Agriculture, Food and Environment

(2) 目的

本学には、多数の留学生および海外姉妹校からの交換留学生を受け入れており、本学の高度な専門教育を効率的に学習させるためには英語による授業が望ましいと考えられます。さらに、国際社会に飛び立つ日本人学生にとっては英語で専門分野を理解する能力が不可欠です。このようなグローバル化時代に対応した大学教育の必要性から本プログラムを実施します。

(3) 内容

本学は、食料、環境、健康、資源エネルギーという人類の課題に対して、農学および関連領域から貢献する人材の育成を目指しています。3キャンパス5学部17学科体制の下で専門的な教育研究を実施し多大な成果をあげてきましたが、これらの課題は相互に関連するもので、学際的アプローチも重要です。たとえば食料問題は食料の生産・分配・消費に関する諸問題の総称ですが、食料生産は農業や食品加工業によって遂行され、自然環境、農業技術、食品加工技術などと深く関わってきます。分配は市場経済メカニズムだけでなく保蔵技術の改良によって流通範囲が拡大しつつあります。消費には所得水準のみならず地域固有の食文化が反映されます。

近年の人口増加に見合う食料の増産は現代農学の顕著な成果でしたが、同時に環境負荷の増大や食の安全性の危惧が表面化してきました。今日、環境保全や安全食料の確保の必要性が世界的規模で認識されています。そこで、農業、食料、環境について、広義の農学的視点から基礎知識の修得を目指す全学共通プログラムを開講します。

まさに、食料と環境についての基礎知識を総合的に習得することは、21世紀の人類繁栄に貢献することにつながります。修得者の国際貢献を推進するため、世界共通語である英語を使用言語として実施します。国際的な活動を志向する日本人学生の英語力と専門的知識の向上を図るとともに、特に欧米などからの留学生や海外姉妹校からの交換留学生にとっては、日本やアジアの食料・農業・農村・環境・文化を概観できる機会となるよう講義・見学などの内容に配慮します。

(4) 開講科目

後掲の科目一覧表のとおり

(5) 本プログラムの特徴

① すべて英語による授業

本プログラムは、本学の専門教育をすべて英語によって実施するものです。単に語学教育のプログラムではないので注意して下さい。

② すべての学生を対象に開講

本プログラムは5学部全学科を対象としたオープンプログラムで、開講学年はフリーです。

フィールドスタディ等学外で実施する科目を除き、原則として世田谷キャンパスで実施します。

③ BasicからAdvancedまで開講

本プログラム科目は、比較的やさしいレベルの科目からより高度なレベルの科目まで開講されます。自分の英語力にあわせて履修を考えて下さい。

④ 授業の開講について

各講義科目は、半期で週1時限（1コマ）開講の2単位です。

「Environment and Landscape of Japan」は、視察があります。

「Environment Conservation in Asia」は、実習があります。

「Field Study of Food and Environment」, 「Group Approach to Food and Environment」,

「Sustainable Agriculture in Asia」は、集中実習となります。

⑤ 修得単位数について

学則第15条の3に規定するとおり、他学科・他学部聴講により修得した単位との合計修得単位のうち30単位までを選択科目として卒業要件単位に加えることができます。

⑥ 試験について

通常の授業時間に実施します。

⑦ 視察、演習、実験・実習およびフィールドスタディは実費を徴収します。

(6) 履修上の注意事項

自分の英語能力にあわせて履修を考えましょう。学年を問わずいつでも履修できますので、英語能力アップを計った上で履修が可能です。

Special Program (Conducted in English): Agriculture, Food and Environment の 科 目 一 覧 表

(平成25年度開講)

Basic (recommended for 1~2 year students)				
科 目 名	配 当 学 年	配 当 学 期	単 位 数	担 当 教 員
Principles of Environment and Agriculture	1~4	L	2	三原真知人(工学),藤川智紀(工学),島田沢彦(工学), 鈴木伸治(工学),岡澤宏(工学),竹内康(工学), 小梁川雅(工学),坂口栄一郎(工学)
Food and Environment in Economic Development	1~4	F	2	板垣啓四郎(開発),高根務(開発), Susan M.F. Calumpang
Environment and Landscape of Japan *1	1~4	F	2	高橋新平(造園),阿部伸太(造園),荒井歩(造園)
Japanese Agricultural Development	1~4	F	2	藤本彰三(ビジネス),井形雅代(ビジネス), 鈴木源太郎(ビジネス)
Comparative Developing Agriculture	1~4	L	2	藤本彰三(ビジネス),三籙久夫(開発), 稲泉博己(ビジネス)
Environment Conservation in Asia *2	1~4	F	2	佐藤孝吉(森林),中村幸人(森林), 菅原泉(森林),上原巖(森林), 稲泉博己(ビジネス),Opoku-Boamah Neil Campbell
Farmers and Consumers in Japan	1~4	L	2	堀内久太郎(開発),杉原たまえ(開発), 岩本純明(開発)
Food and Culture	1~4	L	2	福島菜穂子(国際)
Advanced (recommended for 3~4 year students)				
Food and Nutrition	1~4	F	2	上原万里子(栄養),田中越郎(栄養),山本祐司(化学),服部一夫(栄養), 内野昌孝(化学),小林鎌一(化学),Susan M.F. Calumpang
Global Food Systems	1~4	F	2	高柳長直(経済),林正徳
Agricultural Trade	1~4	L	2	金田憲和(経済),林正徳
Environment, Society and Culture	1~4	F	2	福島菜穂子(国際)
Ecology and Food Production	1~4	L	2	宮浦理恵(ビジネス)
Comparative Food Production Technologies	1~4	L	2	志和地弘信(開発),夏秋啓子(開発), 小塩海平(開発),入江満美(開発), 入江憲治(開発),足達太郎(開発), 中西康博(開発),真田篤史(開発)
Common (recommended for 1~4 year students)				
Field Study of Food and Environment *3*4*5	1~4	S	2	藤本彰三(ビジネス),稲泉博己(ビジネス), CATELO SALVADOR PERALTA
Group Approach to Food and Environment *4	1~4	S	2	志和地弘信(開発), CATELO SALVADOR PERALTA
Sustainable Agriculture in Asia *4*5	1~4	S	2	藤本彰三(ビジネス), CATELO SALVADOR PERALTA

*1, 視察を伴う。*2, 実習を伴う。

*3, Japanese Agricultural Developmentを合わせて履修すること。

*4, 集中実習を行う。新国際教育プログラム(CIEP)科目。

*5, 該当する科目を合わせて履修すること。履修希望者は7月ごろに学生ポータルにて募集予定。

全学共通科目

日本語

- 日本語は、外国人留学生及び帰国子女に限り履修することができます。
- 日本語の修得単位数は、学則第15条の3第3項に規定するとおり、他学科・他学部聴講により修得した単位との合計修得単位のうち30単位までを選択科目の単位として卒業要件単位に加えることができます。
- 履修手続き方法は、「履修のてびき」(別冊)を参照して下さい。

科目区分	授業科目	単位数	週時間数				備考
			一年次	二年次	三年次	四年次	
選択科目	基礎日本語(一)	2	F2				履修することができる者は、外国人留学生及び帰国子女に限る
	基礎日本語(二)	2	F2				
	初級日本語(一)	2	F2				
	初級日本語(二)	2	F2				
	初級日本語(三)	2	L2				
	初級日本語(四)	2	L2				
	中級日本語(一)	2	F2				
	中級日本語(二)	2	F2				
	中級日本語(三)	2	L2				
	中級日本語(四)	2	L2				
	上級日本語(一)	2		F2			
	上級日本語(二)	2		F2			
	上級日本語(三)	2		L2			
	上級日本語(四)	2		L2			

特別活動プログラム

当プログラム設置の目的

学生諸君が取り組んでいるクラブ活動や社会活動など様々な活動を、本学の「個性ある教育」および人格形成や社会性の涵養など人間教育的観点から意義あるものと位置づけ、積極的に評価し、その単位化を計ることを目的とします。また、これらの活動を単位化することにより、学生諸君の取り組み姿勢を明確にするとともにその内容や意欲のより一層の充実を図ることを合わせて目的とします。

対象とする諸活動

活動区分	対象とする具体的活動
(1) クラブ活動 (一) ~ (四)	体連, 文連, 総務, 応援団, 学科統一本部, 同好会
(2) 国際学生交流活動 (一) ~ (四)	学生サミット, 留学生支援, 大学間交流支援など
(3) 環境マネジメント活動 (一) ~ (四)	学内外環境管理活動
(4) ボランティア活動 (一) ~ (四)	地域貢献, 国際貢献, 環境保全, NPO活動, 学習支援活動 (小・中学校・クラブ活動支援), 福祉活動 (高齢者・障がい者介護支援) など

単位認定の特色とカリキュラム上の位置づけ

本活動に関する単位認定の特徴は、通常の科目のように教員の教育目標やシラバスに基づき行う講義や実験・実習、その成績評価のシステムではなく、学生自らが主体的に取り組んだ活動について、学生本人が、活動の責任者の承認を受け単位認定を申請するシステムであることです（履修申請は不要、活動の指導者、責任者が一括承認も可とする）。最終的には、学生の申請書類（活動記録等）をもとに単位認定委員会が審査し単位認定を行います。

なお、単位数は1年（あるいは短期集中1活動）を1単位とし、申請は単年度申請とします。同一年度における同一活動区分での複数申請は行えません。修得総単位数のうち、4単位が卒業要件として認められます。また、修得単位数は、学則第15条の3第2項に規定するとおり、他学科・他学部聴講により修得した単位との合計修得単位のうち30単位まで卒業要件単位に加えることができます。また、当プログラムによる修得単位は、年間および学期ごとの履修制限単位数には含みません。

申請書類提出の手順について

履修のてびき・学生ポータルサイトを参照のこと。

教職・學術情報課程

教 職 課 程
學 術 情 報 課 程

教 職 課 程

教職課程履修にあたっては、教員免許状取得のための単位だけを修得すればよいという安易な考え方ではなく、学校教育は新しい時代を担う生徒の育成にかかわるものであるだけに、教員になることを前提として資質の向上を図るよう取り組んでください。

1 本学で取得できる教員免許状

本学で取得できる教員免許状は、下記のとおりです。

(1) 各学部

○普通免許状

学 科	中 学 (一 種)	高 校 (一 種)
農学部 農学科 畜産学科 バイオセラピー学科	理科 理科 理科	理科・農業 理科・農業 理科・農業
応用生物科学部 バイオサイエンス学科 生物応用化学科 醸造科学科 栄養科学科 食品栄養学専攻 管理栄養士専攻	理科 理科 理科 理科 理科	理科・農業 理科・農業 理科 理科 理科
地域環境科学部 森林総合科学科 生産環境工学科 造園科学科	理科・技術 理科・技術 理科	理科・農業 理科・農業 理科・農業
国際食料情報学部 国際農業開発学科 食料環境経済学科 国際バイオビジネス学科	理科 社会 社会	理科・農業 地歴・公民・農業 情報・農業

○栄養教諭免許状

学 科	
応用生物科学部 栄養科学科 管理栄養士専攻	一種免許状

※栄養科学科食品栄養学専攻の学生は、栄養教諭二種免許状取得に必要な科目の単位を修得し、さらに栄養士の資格を取得することにより、栄養教諭二種免許状を取得することが可能です。

(2) 大学院農学研究科

専 攻	課 程	中学専修	高校専修
農学専攻, 畜産学専攻, バイオセラピー学専攻, 林学専攻, 農業工学専攻, 造園学専攻, 国際農業開発学専攻, 農業経済学専攻, 国際バイオビジネス学専攻	博士前期		農 業
バイオサイエンス専攻, 農芸化学専攻, 醸造学専攻, 食品栄養学専攻		理 科	理 科

2 教員免許状取得のための基礎資格および最低修得単位数

教員免許状を取得するためには、教育職員免許法第5条（別表1・2）の規定により定められた基礎資格と大学における教職に関する科目、教科（ないし栄養に係る教育）に関する科目、教科又は教職に関する科目等について所定の単位を修得しなければなりません。

特に注意しなければならないことは、本学を卒業するために必要な条件と教員免許状取得に必要な条件とはそれぞれ別な基準に属していることです。従って、あらかじめ自己の進路を十分に考えて教職課程を最後まで履修する決意が必要です。また、教職課程を履修する場合には、在学中の4年間の学習計画を十分に立てておくことが必要です。

別表1 教育職員免許法第5条別表第1（抜粋）

所要資格 免許状の種類		基礎資格	大学において必要とする最低修得単位数		
			教科に関する科目	教職に関する科目	教科又は教職に関する科目
中学校 教諭	専修免許状	修士の学位を有すること	20	31	32
	一種免許状	学士の学位を有すること	20	31	8
	二種免許状	短期大学士の学位を有すること	10	21	4
高等学校 教諭	専修免許状	修士の学位を有すること	20	23	40
	一種免許状	学士の学位を有すること	20	23	16

※中学校・高等学校一種免許状は、上記表の「教科に関する科目」「教職に関する科目」「教科又は教職に関する科目」について、大学において必要とする最低必要修得単位数を満たし、免許教科ごとに59単位修得しなければなりません。

別表2 教育職員免許法第5条別表第2の2（抜粋）

所要資格 免許状の種類		基礎資格	大学において必要とする最低修得単位数		
			栄養に係る教育に関する科目	教職に関する科目	栄養に係る教育又は教職に関する科目
栄養 教諭	一種免許状	学士の学位を有すること、かつ、管理栄養士の免許を受けていること。	4	18	
	二種免許状	短期大学士の学位を有すること及び栄養士の免許を受けていること	2	12	

3 教職課程の内容

本学の教職課程の目的は、その建学の精神に則り、教員としての主要な資格要件を満たす卒業生を社会に送り出すことにあります。別表1に基づき、「教職課程履修案内」（7月の履修申込時に配付）にて取得単位数について解説します。

教職課程の履修申込みについては、履修のてびきを参照の上登録を行います。教職課程履修希望者は、所属学科の授業科目配当表（p.119～p.153）の「教職欄」を参照して、「必」のついている科目および「教職に関する科目」を履修してください。

(1) 教員免許状取得のための前提条件

教育職員免許法施行規則第66条の6により、教員免許状を取得するためには以下の科目を必ず修得しなければなりません。

授 業 科 目	単 位 数
英語（一）	2
情報基礎（一）	2
日本国憲法	2
スポーツ・レクリエーション（一）	1
スポーツ・レクリエーション（二）	1

(2) 教科に関する科目

修得しなければならない科目、および修得しなければならない単位数は免許の教科ごとに定められています。詳しくは「教職課程履修案内」に記載されています。

(3) 教職に関する科目

教職に関する科目ならびにその単位数は下表の通りです。

	授業科目	単位数	中学	高校	栄養
必修科目	教職概論	2	必	必	必
	教育原理	2	必	必	必
	教育心理学	2	必	必	必
	教育課程論	2	必	必	必
	特別活動論	2	必	必	必
	教育方法論	2	必	必	必
	生徒・進路指導論	2	必	必	—
	教育相談論	2	必	必	必
	道德教育論	2	必	選択	必
	教職実践演習（中・高）	2	必	必	—
	教育実習Ⅰ	3	必	必	—
	教育実習Ⅱ	2	必	選択	—
	生活指導論	2	—	—	必
	教職実践演習（栄養教諭）	2	—	—	必
	栄養教諭実習	2	—	—	必
選択必修科目 Ⅰ	教育制度概論	2	一科目必修		
	教育行政論	2			
選択必修科目 Ⅱ	理科教育法Ⅰ	2	必	必	—
	理科教育法Ⅱ	2	必	必	—
	理科教材研究Ⅰ	2	必	必	—
	理科教材研究Ⅱ	2	必	必	—
	社会科・地歴科教育法	2	必	必	—
	社会科・地歴科教材研究	2	必	必	—
	社会科・公民科教育法	2	必	必	—
	社会科・公民科教材研究	2	必	必	—
	農業科教育法	2	—	必	—
	農業科教材研究	2	—	必	—
	技術科教育法Ⅰ	2	必	—	—
	技術科教育法Ⅱ	2	必	—	—
	技術科教材研究Ⅰ	2	必	—	—
	技術科教材研究Ⅱ	2	必	—	—
	情報科教育法	2	—	必	—
情報科教材研究	2	—	必	—	

*一印の科目は履修できません。

*選択必修科目Ⅰは、いずれかの科目が必修となります。2科目とも履修した場合は、「教科又は教職に関する科目」としてカウントされます。

*選択必修科目Ⅱは、取得する免許教科ごとに修得しなければなりません。

(4) 教科又は教職に関する科目

下表の2科目です。「教科に関する科目」と「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて履修した単位を当てることができます。

授 業 科 目		単位数
福祉概論（中学校免許取得者は必修）		2
視聴覚教育法		2
「教科に関する科目」若しくは「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位		
合 計	中学	8 単位以上
	高校	16単位以上

(5) 栄養に係る教育に関する科目

栄養に係る教育に関する科目ならびにその単位数は下表の通りです。

授 業 科 目	単位数
栄養教諭論（一）	2
栄養教諭論（二）	2

4 受講料

- 1 免許教科 120,000円（栄養教諭免許を含む）
- 2 免許教科 140,000円（栄養教諭免許を含む）
- 3 免許教科 160,000円
- 4 免許教科 180,000円

注 意

- (1) この受講料は教育実習費・栄養教諭実習費を含んでいます。
- (2) 中学理科，高校理科を履修する場合は，120,000円となります。
- (3) 受講料は一括払いで卒業するまで有効です。
- (4) 納金した受講料については返金しません。

5 教職課程授業科目配当表

必修 選択	別	授 業 科 目	単 位 数	週時間数				開講学科													備 考								
				一 年 次	二 年 次	三 年 次	四 年 次	農 学	畜 産	セラ ビー	バイ オ	化 学	醸 造	栄 養	管 理	森 林	工 学	造 園	開 発	経 済		ビ ジ ネ ス							
教職に関する科目	必修科目	教職概論	2		F2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		教育原理	2		F2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		教育心理学	2		F2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		教育課程論	2		L2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		特別活動論	2			L2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		教育方法論	2		L2				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		生徒・進路指導論	2			F2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		教育相談論	2			L2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		道徳教育論	2			F2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	中学必修
		教育実習Ⅰ	3				2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		教育実習Ⅱ	2				2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	中学必修	
		教職実践演習(中・高)	2				L2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		生活指導論	2			F2																						栄養教諭用	
		栄養教諭実習	2				2																					栄養教諭用	
	教職実践演習(栄養教諭)	2				L2																					栄養教諭用		
	選択必修科目Ⅰ	教育制度概論	2		L2				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		教育行政論	2		L2				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		理科教育法Ⅰ	2		F2				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		理科教育法Ⅱ	2		F2				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		理科教材研究Ⅰ	2		L2				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		理科教材研究Ⅱ	2		L2				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		社会科・地歴科教育法	2		F2																						○		
		社会科・地歴科教材研究	2		L2																							○	
		社会科・公民科教育法	2		F2																							○	
		社会科・公民科教材研究	2		L2																							○	
		農業科教育法	2		F2				○	○	○	○	○															○	
		農業科教材研究	2		L2				○	○	○	○	○															○	
		技術科教育法Ⅰ	2		F2																							○	
		技術科教育法Ⅱ	2		L2																							○	
		技術科教材研究Ⅰ	2		F2																							○	
		技術科教材研究Ⅱ	2		L2																							○	
		情報科教育法	2		F2																							○	
		情報科教材研究	2		L2																							○	
教科に関する科目		理科	物理学実験(コンピュータ活用を含む)	1		L2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	化学実験(コンピュータ活用を含む)		1		F2			○																					
	生物学実験(コンピュータ活用を含む)		1		L2																								
	地学実験(コンピュータ活用を含む)		1		F2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	社会	外国史	2		L2																							○	
		地誌	2		F2																							○	
		倫理学	2		L2																							○	
		哲学	2		F2																							○	
	地理歴史	外国史	2		L2																							○	
		人文地理学	2		F2																							○	
		自然地理学	2		L2																							○	
		地誌	2		F2																							○	
	公民	倫理学	2		L2																							○	
		哲学	2		F2																							○	
	農業	職業指導	2		L2				○	○	○	○	○															○	
		木材加工(製図及び実習を含む)	2		F2																							○	
	技術	金属加工(製図及び実習を含む)	2		L2																							○	
		機械(実習を含む)	2		F2																							○	
		電気(実習を含む)	2		L2																							○	
		栽培(実習を含む)	2		F2																							○	
情報とコンピュータ(実習を含む)		2		L2																							○		
情報と職業		2		L2																							○		
栄養に関する科目	栄養教諭	2		F2																									
	栄養教諭(二)	2		L2																									
教科又は教職に関する科目	福祉概論	2		L2				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	中学必修		
	視聴覚教育法	2		L2				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			

学術情報課程

1 学術情報課程とは

本課程の教育は、企業の情報部、資料部、特許部、その他の情報部門、研究開発部門および営業部門、ならびに公共機関としての博物館、資料館、科学館、児童館、各種図書館、情報センター等において、科学技術に関する情報の調査・収集・整理・保管・検索・提供（展示を含む）等にあたる技術者を養成することを目的としています。本課程での学習は、大学卒業後、研究、技術、営業その他どんな仕事に従事する場合でも非常に役立つものです。

情報化時代といわれる今日、コンピュータ等の機器は急速に進歩しています。これらのハードを利用する技術を持った人材の養成は、大学その他において盛んに行われています。しかし、現在わが国では、科学技術情報の調査から提供までを担当できる技術者が不足し、その養成教育は大学における盲点の一つとなっています。

情報を取扱う人材養成は、人文・社会科学系の大学において、司書あるいは学芸員養成のためのコースで行われていますが、自然科学系の大学においてはほとんど行われていません。そのため、企業や公共機関において、科学技術情報を取扱う人材の確保に困難を生じています。本課程は、このような社会の要求にこたえるために開設されました。

2 学芸員と司書

学芸員は、博物館法によって登録または指定された博物館、動物園、植物園、水族館、美術館を含など（以下「博物館」という）において、調査・研究・展示等の業務を担当する専門職員です。博物館には、学芸員をおくことが法律で義務づけられています。有資格者の就職先としては、資料館、植物園、動物園、水族館、博物館、その他の社会教育施設、展示企業などがあります。さらに近年、県市町村立の博物館が多くなり、これらを管轄する教育委員会では、学芸員資格を有する者を採用する傾向が多くなってきています。

司書は、図書館法によって定められた図書館に置かれる専門職員です。図書館は、図書、記録、資料を収集し、それを整理・保存して利用に供し、教育、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設で、司書はこれらの専門業務を行う職員です。図書館には、司書を置くことが義務づけられています。有資格者の就職先としては、図書館はもちろん、官公庁および企業等の研究開発部門、資料室などがあげられます。

3 資格取得について

「学芸員資格」

博物館法第5条第1号で学芸員となる資格を有する者を「学士の学位を有する者で、大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得したもの」と規定しています。この規定に基づいて、本学では卒業要件を満たし所定の単位（9科目19単位）を修得した者に対し、資格の証明として「博物館に関する科目の単位修得証書」を授与します。

「司書資格」

図書館法第5条2号で司書となる資格を有する者を「大学を卒業した者で大学において図書館に関する科目を履修したもの」と規定しています。この規定に基づいて、本学では卒業要件を満たし所定の単位（必修11科目22単位及び選択2科目2単位以上、合計24単位以上）を修得した者に対し、資格の証明として「図書館に関する科目の単位修得証書」を授与します。

4 履修科目について

平成24年4月1日改正

資格	開 講 科 目		履修年次	単位
学芸員	必修	生涯学習概論	3	2
		博物館概論	2	2
		博物館経営論	3	2
		博物館資料論	2	2
		博物館資料保存論	3	2
		博物館展示論	3	2
		博物館情報・メディア論	3	2
		博物館教育論	3	2
		博物館実習	4	3
司書	必修	生涯学習概論	3	2
		図書館概論	2	2
		図書館情報技術論	3	2
		図書館制度・経営論	3	2
		図書館サービス概論	2	2
		情報サービス論	2	2
		児童サービス論	2	2
		情報サービス演習	4	2
		図書館情報資源概論	3	2
		情報資源組織論	3	2
		情報資源組織演習	4	2
	選択	図書館基礎特論	3	1
		図書館サービス特論	3	1
		図書館情報資源特論	3	1
		図書館総合演習	3	1
		図書館実習	4	1

- ① 学芸員資格は上記の9科目合計19単位を取得し、かつ学士の学位を得たものに対して、卒業時に授与する。司書資格は、必修科目11科目22単位と選択科目2科目2単位の合計13科目24単位以上を取得し、かつ学士の学位を得たものに対して、卒業時に授与する。
- ② 学芸員科目の博物館実習は、3年次に館務実習事前指導と4日間の施設見学、4年次に週2コマの学内実習と10日間の館務実習を実施する。
- ③ 司書科目の情報サービス演習（2単位）及び情報資源組織演習（2単位）はそれぞれ60時間の演習を行う。
- ④ 集中講義は夏季休業期間中に実施する。
- ⑤ 各講義の最終日に試験を実施する。夏季集中講義は再試験を行わない。
- ⑥ 学芸員科目は、3年次終了時に未修得の科目がある場合は4年次に博物館実習を履修できない。
- ⑦ 司書科目は3年次終了時に図書館概論、情報サービス論、図書館サービス概論、図書館情報技術論、情報資源組織論、図書館情報資源概論を未修得の場合は、4年次の情報サービス演習、情報資源組織演習を履修できない。
- ⑧ 司書科目の図書館実習は、3年次終了時に必修科目18単位を取得できない場合は履修することができない。また、図書館実習（1単位）は45時間以上の実習を行う。

◎ 履修方法についての説明会

学術情報課程の履修登録および単位取得についての説明会は1年次後学期に実施しますので、履修希望者は必ず説明会に出席し、所定の期日までに履修手続を行わなければなりません。

履修登録は1年次に限られますので、所定の期日までに申し込まないと履修できなくなります。

5 履修費用について

資 格	金 額
学 芸 員 資 格 (単修)	130,000円
司 書 資 格 (単修)	130,000円
学 芸 員 ・ 司 書 両 資 格 (併修)	180,000円

短期大学部

授業科目の概要

授業科目は、本学の研究及び教育目標を達成するために、次のように分けられ各年次に配当されています。

1 科目の区分

- (1) 必修科目：必ず修得しなければならない科目
- (2) 選択必修科目：限定された科目群の中から、指定された単位数を修得しなければならない科目
- (3) 選択科目：学生の意思により選択し、卒業要件単位数以上を修得しなければならない科目

2 総合教育科目

- (1) 全学共通
 - ① 導入科目：大学での学習と学生生活のための基礎的技能を涵養するための科目
 - ② 課題別科目：農学を多角的視点から理解する学科横断的な科目
 - ③ 英語科目：全学的な英語力の向上のための科目
 - ④ スポーツ関係科目：スポーツを通して健全な身体と体力、精神力を養うための科目
 - ⑤ 就職準備科目：就職への意識高揚と社会に出て役立つ知識を習得するための科目
 - ⑥ 演習科目：少人数教育による思考力、ディスカッション・プレゼンテーション能力を涵養するための科目
- (2) 学部共通
 - ① 人間関係科目：社会道徳と倫理観を涵養するための科目
 - ② 社会関係科目：社会の仕組みの基礎知識を得るための科目
 - ③ 自然関係科目：自然科学についての幅広い視野と探究心を養うための科目
 - ④ リメディアル教育科目※：基礎知識向上のための補講科目
※成績評価（「秀」評価を除く）されるが、卒業要件単位及びGPAには含まれない。

3 専門教育科目

- (1) 学部専門
 - ① 専門共通科目：農学の基礎概念、知識を総合的に把握するための科目
 - ② 創生型科目：分野横断包括型の教育プログラムなど農学的知識と経験を応用し、グループで課題に取り組む科目
 - ③ 学際領域科目：学生の興味と複数学科の教育目標に対応する科目
- (2) 学科専門
 - ① 専門基礎科目：専門を理解するための基礎となる科目
 - ② 専門コア科目：学生が主体的に専門の課題を探究し、解決する能力と知識を養成するための科目
 - ③ 総合化科目：卒業論文、総合演習など

4 オープン開講方式による授業科目

特別活動プログラム

5 資格取得に関する授業科目

学術情報課程科目：司書資格を取得するための科目

単 位 制

大学における単位制とは、授業科目を履修し、その授業科目に与えられた単位を試験等に合格することによって修得する制度です。卒業までに定められた単位数を修得しなければなりません。

各授業科目の単位数は、授業の方法に応じて異なり、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学習等を考慮して次の基準により定められています。

[単位計算基準]

区 分	単位数	授 業 時 間
講義・演習（外国語を含む）	2 単位	2 時間（週 1 コマ）× 15 週（半期）
実験・実習・研修・スポーツレクリエーション	1 単位	2 時間（週 1 コマ）× 15 週（半期）

※1時限（1コマ=2時間）は90分授業で実施します。

授 業

1 学期制（セメスター制）

本学では1年間を前学期と後学期の2学期に分け、それぞれの学期の中で各学期配当科目の授業・試験・成績評価を行います。したがって各学期の最終評価が不合格となった科目を履修する場合は、翌年度に再度履修し、授業を受講することになります。

2 授業時間

本学の授業は、90分を1時限として行います。なお、授業の時間区分は次のとおりです。

時限	1時限	2時限	昼休み	3時限	4時限	5時限	6時限
時間 (90分間)	9:00 }	10:40 }	12:10 }	13:00 }	14:40 }	16:20 }	18:00 }
	10:30	12:10	13:00	14:30	16:10	17:50	19:30

※短期間に行う集中授業及び隔週で行う授業もあります。

3 出席の重要性

授業は、教員と学生が直接人間的なふれあいを通して学問する場であり、学生生活の基本となるものです。また、単位制の基本となる授業時間について定めがあるように、出席状況は成績評価の重要な要素になります。なお、授業を3分の1以上欠席した場合は、定期試験等を受験しても単位を修得できない場合があります。

4 欠席届

授業をやむを得ない事由で欠席する場合または欠席した場合は、学習支援課窓口においてある「欠席届」に必要事項を記入の上、授業担当者に直接提出して下さい（欠席届は学生ポータルサイトからもダウンロードできます）。

なお、学校保健法に規定された伝染病による欠席届は、専用の様式があります。詳細は、p.50の「健康管理」を参照して下さい。

5 休講

休講の場合は事前に掲示により伝達します。休講の掲示がなく、30分経過しても授業が開始されない場合は、関係窓口で確認して下さい（休講情報は、学生ポータルサイトでも確認できます）。

6 補講

授業時間数がやむを得ない事情により不足した場合には、補講授業を実施することがあります。この場合、授業担当者が指示するほか、学生ポータルサイト・掲示により伝達します。

7 学生による授業評価

本学では授業を改善するために、学生ポータルサイトまたは携帯電話で「学生による授業評価」を実施しています。より良い授業を行うことは授業担当者の責務ですが、内容がきちんと受講生に伝わっているか、理解されているか、あるいは「わかりやすいか」を把握（測定）するためには授業評価を実施して受講生の声を集める必要があります。また、大学全体の授業と比較して自分の授業がどうであるかを把握するためにも授業評価は有効です。より良い授業は、授業担当者と受講生が協力して創り上げるものであるため、授業評価の実施に協力して下さい。

また、授業に対して意見がある場合は「授業に意見」という用紙を用いて提出することができます。これは日ごろ授業を受けていて感じることを、改善してほしいことを大学に伝えるためのものです。提出された意見は十分検討し、改善を図ることになっています。学生ポータルサイトには、大学への要望・提案および授業・研究室、学生生活上の悩み等をメールで受け付ける窓口を開設していますので利用して下さい。

履 修

1 履修とは

毎年度はじめに1年間の受講科目を各自が決定し、実際の授業に出席する一連の流れをいいます。

2 履修科目決定までの流れ

(1) 履修計画

履修登録を行うにあたって、1年間の履修計画を立てなければなりません。次の点を考慮し計画して下さい。

- ① 各学科の「授業科目配当表」(※後掲)、「講義要項(シラバス)」(※別冊)を熟読し、カリキュラムの概要を把握して下さい。
- ② **必修科目**は、決められた年次・学期に履修して下さい。
- ③ **選択必修科目**は、指定された科目の中から、決められた単位を満たすように履修して下さい。
- ④ **選択科目**は、将来志向や資格取得などを考え、卒業要件を満たすように履修して下さい。
- ⑤ 卒業基準を超えるように、履修計画を立てて下さい。

(2) 履修登録

履修登録とは、各自が受講しようとする授業科目について、その意思表示をすることです。また、履修登録は1年間あるいは各学期の履修計画を決める上で最も重要な手続きであり、単位の修得及び卒業には欠かすことのできないものです。履修登録を安易に考え、手続きを怠ったことにより無駄な時間を過ごしてしまうことになりかねません。各自の履修計画を円滑に進めるために細心の注意を払って履修登録して下さい。

なお、履修登録の詳細は「履修のてびき」(別冊)に記載してあります。これを参照し履修登録して下さい。

(3) 履修の確定

5月中に「履修確定表」を学生ポータルサイトに開示します。この表に記載されている授業科目が当該年度の登録された科目です。登録されていない科目がある場合は、履修修正期間内に手続きして下さい。

※後学期配当科目については、後学期授業開始後に登録の変更を認めます。

詳細については「履修のてびき」で確認して下さい。

3 履修上の注意事項 [取決め事項]

(1) 履修登録単位数の制限について

単位を得るためには、定められた時間の学習が必要です。例えば、講義科目の場合、2単位を修得するためには、90時間の学習が必要であり、1回の授業において2時間(2時間×15週間=30時間)学び、1週間に4時間(4時間×15週間=60時間)の予習・復習を行うことにより、単位が与えられます。このように履修登録単位数と学習時間は連動しており、登録する単位数が多ければ1週間に学習する時間は比例して増加することになります。

本学では履修登録を行うにあたって、次のように登録できる単位数を制限しています。1週間に学習できる時間数を考えて履修登録して下さい。なお、卒業年次生には履修登録制限はありません。また、学術情報課程科目と特別活動プログラムについては、この履修登録単位数の制限から除外します。

1年間に履修登録できる単位数の上限……50単位 (他学科聴講を含む)

各学期に履修登録できる単位数の上限……26単位 (他学科聴講を含む)

例えば前学期に26単位登録した場合には、後学期に登録できる単位数は24単位になります。

※履修登録できる単位数とは、あくまでも登録した科目の総単位数であり、修得できた総単位数ではありませんので、注意して下さい。

(2) 有料科目について

一度履修して不合格になった科目を再び履修する場合（再履修）は有料になり，1科目につき所定の金額を納付することになります。詳細は「履修のてびき」で確認して下さい。

(3) 他学科聴講・大学間聴講について（詳細は「履修のてびき」を参照）

他学科聴講とは他の学科で開講している講義科目を履修すること，大学間聴講とは東京農業大学の講義科目を履修することです。

- ・ 修得した単位は，他学科聴講・大学間聴講を合わせて15単位まで，卒業要件単位に加えることができます。また，在学中に履修できる単位も合計15単位までです（合否に関わらず，履修した時点で単位数をカウントします）。
- ・ 実験・実習・演習・研修科目・栄養学科専門教育科目の資格必修科目は履修できません。
- ・ 他学科聴講は，上級学年配当の科目は履修できません。
- ・ 大学間聴講は，必修・選択必修・英語による専門教育プログラム関係の科目，英語科目，実験・実習・演習科目，学情科目及び栄養科学科専門教育科目の資格必修科目は，履修できません。

試験

授業科目の履修状況を評価し、単位を認定するために試験を行います。授業科目によっては、レポートに代える場合があります。授業に出席し授業担当者の指示に従って下さい。

受験資格

- (1) 当該授業科目が履修登録されていること
 - (2) 当該授業担当者の定める出席日数を満たしていること（原則として授業日数の2/3以上）
 - (3) 当該学期までの学費その他の納付金を納入していること
- ※休学期間中に試験を受けることはできない

1 定期試験

一定の期間内に時間割を決めて各学期に実施する試験です。定期試験を実施する授業科目及びその時間割は、試験開始1週間前に掲示板・学生ポータルサイトで発表します（実験・実習・演習科目は、原則として「定期試験」を実施しません）。

なお、定期試験またはそれに代わる試験を病気その他やむを得ない事由により欠席した場合は、指定された期日（試験時間割発表時に掲示）までに欠席の事由（当日の状況など）を証明する書類を持参して試験欠席の手続きを行って下さい。この届出により、追試験の受験を認めます。欠席事由と添付提出書類は次のとおりです。

欠席事由	提出書類
病気	医師の診断書（試験当日の健康状態を記載のものに限る）
交通機関の遅延	交通機関発行の遅延証明書
忌引（三親等までの親族の死亡）	死亡に関する書類（会葬通知等）
就職試験等	就職活動証明書（キャリアセンターで証明を受けること） ※事由によっては証明が受けられない場合がある。必ず試験前、早めに窓口で確認すること。なお、企業説明会は認められないので注意すること。
災害（水害・火災等）	官公庁による被災証明書

※詳細は関係窓口で確認して下さい。

2 追試験

定期試験またはそれに代わる試験を病気その他やむを得ない事由により受験できなかった者のうち、指定された期日までに試験欠席届を提出した者に対して各学期末に行う試験です（無料）。従って、本人の不注意による試験の欠席および証明する書類がない場合は、追試験の対象となりません。

※追試験を欠席した場合の再度の試験は行いません。

3 定期試験に関する注意事項

- 試験時間は45分間です。通常の授業時間とは異なるので注意して下さい。
- 学生証を所持していない学生は受験できません。なお、当日忘れた場合は、学生生活支援課にて仮学生証の発行を受けて下さい（有料・当日限り有効）。
- 受験科目が重複した場合は、事前に申し出て下さい。
- 試験場への入場は、試験開始後20分までとします（試験開始後は、退場できません）。
- 試験場あるいは受験科目・授業担当者の間違い、無記名答案は受験しても無効となります。
- 答案は白紙であっても必ず提出して下さい。
- 試験場においては、すべて監督者の指示に従わなければなりません。
- その他試験に関しては、関係窓口へ問い合わせして下さい。

[試験時間]

時限	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限
時間	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00
	9:45	10:45	11:45	12:45	13:45	14:45

時限	7時限	8時限	9時限	10時限	11時限
時間	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
	15:45	16:45	17:45	18:45	19:45

4 不正行為について

不正行為（カンニング等）が発覚した場合は、当該学期の評価をすべて無効（未評価）とします。

5 試験に代えて行うレポート提出時の注意事項

レポートの提出は、担当教員が授業中に提出を求める場合、担当教員が締切期日を指定して研究室等で受け付ける場合、窓口で受け付ける場合があります。

科目名： _____ 担当者： _____

<課題>

学科： _____ 学年： _____ 学籍番号： _____

氏名： _____

いずれの場合も**提出締切期限厳守**となっていますので注意して下さい。レポートの提出に際しては、原則として次の注意事項に従って下さい。

- 表紙を含めサイズは、授業担当者の指示がない限りA4にして下さい。
- 必要事項（科目名・担当者・課題・学科・学年・学籍番号・氏名）をもれなく記載して下さい。
- 原則として左上角をホッチキスで必ず止めて下さい。ただし、授業担当者の指示がある場合はそれに従って下さい。
- 定められた場所に提出して下さい。
- 提出期限は厳守して下さい。
- 表紙のないレポートや、記載内容に不備があるレポートは、無効になる場合があります。

成績

1 成績評価

成績評価は、「秀」・「優」・「良」・「可」が合格で、「不可」・「未評価」は不合格です。成績評価の基準は、次の通りです。

成績評価基準のガイドライン

判定	成績	表示	成績評価基準	GP	成績評価内容
合格	秀	S	100～90点	4.0	特に優れた成績（履修者の5%以内）
	優	A	89～80点	3.0	優れた成績
	良	B	79～70点	2.0	妥当と認められる成績
	可	C	69～60点	1.0	合格と認められる成績
不合格	不可	D	59点以下	0	合格と認められる成績に達していない
	未評価	F	—	0	評価に値しない

2 GPA（グレード・ポイント・アベレージ）

(1) GPA

自らの学業成績の状況を的確に把握して、適切な履修計画とそれに基づく学習に役立てるため、GPAを算出しています。

(2) GPA対象科目

GPAの対象科目は、①「卒業要件に算入できる科目」であって、かつ②「5段階評価によって成績を認定する科目」とし、③「学生が履修登録した科目」とします。したがって、他学科聴講科目などは含め、学術情報課程や特別活動プログラム及び認定科目は除かれます。

(3) GPAの算出

[学期ごとのGPAの算出方法]

学期ごとのGPA算出は、次の式によります。

$$\frac{\text{(当該学期で履修登録したGPA対象科目のGP} \times \text{その科目の単位数) の合計}}{\text{当該学期で履修登録したGPA対象科目の単位数の合計}}$$

注1. GPA対象科目で不可（D）及び未評価（F）科目は、分母に含みます。

注2. 通年科目は後学期に含めGPAを算出します。

注3. 「不可」・「未評価」となった科目を再履修した場合は、再履修した当該学期の対象科目に含め、GPAを算出します。

注4. 前項の場合、「不可」・「未評価」となった学期のGPAは変更しません。

[通算GPAの算出方法]

通算GPAは、在学中に履修登録したすべてのGPA対象科目に基づくもので、その算出は次の式によります。

$$\frac{(\text{在学中に履修登録したGPA対象科目の最新GP} \times \text{その科目の単位数}) \text{の合計}}{\text{在学中に履修登録したGPA対象科目の単位数の合計}}$$

注1. 通算GPAは毎学期末に算出します。

注2. 再履修した場合は1科目としてカウントします（ダブルカウントしない）。

注3. 再履修した科目のG Pは、最新の評価に基づく値で算出します。

3 履修成績表

各学期に履修した授業科目の成績は、次の学期の授業開始前に履修成績表として学生ポータルサイトにて開示します。

4 成績証明書

成績証明書には、「秀」・「優」・「良」・「可」の合格した授業科目（科目名・単位数・評価）と通算GPAを記載し、不合格の授業科目は記載しません。

5 成績相談

学期毎の成績発表後に実施します。詳細は「履修のてびき」で確認して下さい。

進 級

1 1年次から2年次への進級基準（休学者を除く）

1年次終了時に卒業要件に関わる修得単位数が20単位未満の場合には、2年次への進級を認めません（原級または学則第36条第1項第2号に該当する退学となります）。

2 進級者の発表

年度末（3月中旬）に進級確定者を掲示板で発表します。

在 学 期 間

本学に在学できる期間は、休学期間を除いて4年です。

卒 業 ・ 学 位 記

1 卒業要件

卒業に必要な単位数は「62単位」です。

[学科別卒業要件単位数]

学 科 名	必修科目	選択必修科目	選択科目	合 計
生物生産技術学科	29	12	21	62
環境緑地学科	35	—	27	62
醸造学科	47	—	15	62
栄養学科	27	—	35	62

※詳細については、学科別授業科目配当表を参照のこと。

2 学位記

卒業生には、次のとおり短期大学士の学位を授与します。また卒業時に学位記を授与します。

学 科	学 位
生物生産技術学科	短期大学士（生物生産技術学）
環境緑地学科	短期大学士（環境緑地学）
醸造学科	短期大学士（醸造学）
栄養学科	短期大学士（栄養学）

3 9月卒業

次の各項目をすべて満たす場合は、9月30日付で卒業する。

- ・ 9月30日までに卒業要件単位を満たしていること（9月30日までに卒業論文の評価が合格になった場合を含む）。
- ・ 9月30日で2年間在学していること。
- ・ 2年次を通算で1年間以上在籍していること。
- ・ 該当学生が9月卒業を希望していること。

そ の 他

1 学生への連絡と掲示

学生への通知や連絡は、学生ポータルサイト・掲示によって行います。休講、補講、教室変更、時間変更、手続書類不備の呼出し等を掲示しますので、必ず毎日学生ポータルサイトを見る習慣をつけて下さい。

※電話による問い合わせ（行事予定・試験・休講等）は受け付けていません。学生ポータルサイトで確認するか、関係窓口で直接聞いて下さい。

2 窓口での相談・質問等

履修に関する相談、試験に関する質問、レポートの提出、呼び出し応答など修学に必要な事項の相談・質問は、窓口へ申し出て下さい。

なお、提出期限のある手続き（レポート提出等）は、受付期間・時間を厳守して下さい（期限に遅れた場合は受け付けません）。

窓口受付時間（夏季休業等授業を実施していない期間中は時間を変更するので確認のこと）

〔平日〕 世田谷キャンパス 8:30～19:30 厚木キャンパス 8:30～17:00

※時間外は受け付けません。

授業科目配当表

生物生産技術学科

平成22年4月改正

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数		
				一年次	二年次	
総合教育科目	全学共通	必 フレッシュマンセミナー	2	F2		
		必 情報基礎(一)	2	F2		
		必 情報基礎(二)	2	L2		
	学部共通	人間関係科目	生 命 倫 理	2		F2
			心 の 構 造	2		F2
		社会関係科目	日 本 国 憲 法	2		L2
			現 代 の 環 境 問 題	2		F2
	全学共通	自然関係科目	生 物 学	2	F2	
			化 学	2	F2	
			統 計 学	2	L2	
		課題別科目	特 別 講 義(一)	2		
			特 別 講 義(二)	2		
			インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2	
			インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2	
		英語科目	必 英 語(一)	2	F2	
			英 語(二)	2	L2	
			英 語(三)	2		F2
	英 語(四)		2		L2	
	スポーツ関係科目	スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2		
		スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2		
キャリアデザイン		1	L1			
インターンシップ		1	L1			
就職準備科目	ビジネスマナー	1	L1			
	演習科目	必 フレッシュマン演習	1	F1		
		リメディアル教育科目	基 礎 生 物	2	F2	
学部共通		基 礎 化 学	2	F2		
		文 章 表 現	2	F2		
	専門共通科目	食 農 体 験 実 習	2	F4		
		農産物マーケティング論	2		F2	
	学部専門	創生型科目	マ イ ス タ ー セ ミ ナ ー	2	L2	
学際領域科目		食 の 安 全 と 信 頼	2	L2		
		みどりと農業生産(含畜産物)	2	F2		

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数			
				一年次	二年次		
専門教育科目	専門基礎科目	必 ※ 生物生産概論	2	F2			
		必 植物のからだ	2	F2			
		必 ※ 動物のからだ	2	F2			
		必 生物産業マイスターセミナー	2		F2		
		必 生物産業インターンシップ	2		F2		
		必 ※ 専門実習(一)	2	2			
		必 農学実習	2	4			
		専門コア科目	選必A	必 環境共生型農業論	2		L2
				必 農業技術開発論	2		L2
				作物生産学	2		L2
	花生産学			2		F2	
	選必B		果物生産学	2		F2	
			野菜生産学	2		F2	
			植物育種学	2		L2	
			※ 家畜生産学	2		F2	
			分子遺伝学	2	L2		
			※ バイテク概論	2	L2		
			※ 動物育種・繁殖学	2	L2		
			土壌肥料学	2	L2		
			農業気象学	2	L2		
			実験動物学	2		F2	
			農産加工・利用学	2		L2	
			動物衛生学	2		F2	
			バイオセラピー論	2		L2	
	総合化科目		専 門 研 究	4		8	
	必 ※ 専門実習(二)	2		2			
	必 卒業論文	2		4			

区分欄の必は必修科目、選必は選択必修科目を表す(空白は選択科目)。

卒業要件単位数			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
29単位	12単位以上	21単位以上	62単位以上

選択科目には次の単位を加算することができる。
 ・他学科聴講・大学間履修・英語による専門教育プログラム・特別活動プログラムで修得した単位のうち15単位
 リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

- 注) 1 週時間数欄の F は前学期配当科目, L は後学期配当科目を表す。
 2 「専門教育科目」の選択必修科目 A および選択必修科目 B よりそれぞれ 3 科目以上を修得しなければならない。
 3 授業科目欄の ※ は、家畜人工授精師講習の一部免除を含む学科目である。

環境緑地学科

平成22年4月改正

短緑

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数		
				一年次	二年次	
総合教育科目	全学共通	導入科目	必	フレッシュマンセミナー	2	F2
		必	※情報基礎(一)	2	F2	
		必	※情報基礎(二)	2	L2	
	学部共通	人間関係科目	生命倫理	2		F2
			心の構造	2		F2
		社会関係科目	日本国憲法	2		L2
			※現代の環境問題	2		F2
	自然関係科目	生物学	2	F2		
		化学	2	F2		
		統計学	2	L2		
	課題別科目	特別講義(一)	2			
		特別講義(二)	2			
		インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2		
		インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2		
	英語科目	必	英語(一)	2	F2	
		英語(二)	2	L2		
		英語(三)	2	F2		
		英語(四)	2	L2		
	スポーツ関係科目	スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2		
		スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2		
キャリアデザイン		1	L1			
就職準備科目	インターンシップ	1	L1			
	ビジネスマナー	1	L1			
	演習科目	必	フレッシュマン演習	1	F1	
学部共通	リメディアル教育科目	基礎生物学	2	F2		
	基礎化学	2	F2			
	文章表現	2	F2			
専門教育科目	専門共通科目	食農体験実習	2	F4		
		農産物マーケティング論	2	F2		
	創生型科目	マイスターセミナー	2	L2		
	学際領域科目	食の安全と信頼	2	L2		
		みどりと農業生産(含畜産物)	2	F2		

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数		
				一年次	二年次	
専門教育科目	専門基礎科目	必	※フィールド調査実習	2	F4	
		必	※フィールド観察実習	2	F4	
		必	※環境デザイン実習	2	F2	
		必	※CAD設計・GIS実習	2	L2	
		必	※環境緑地管理実習	2	F4	
		必	※環境緑地施工実習	2	L4	
		必	※測量学	2	F2	
		必	※測量実習	2	2	
			緑地生物の保全	2	F2	
			植物学基礎・分類	2	L2	
			※自然環境論	2	L2	
			※土壌及肥料学	2	L2	
			フィールドトリップ	2	L2	
		専門コア科目	必	※緑地生態学	2	F2
			必	※環境植栽学	2	L2
	必		※緑地計画学	2	F2	
			※公園緑地論	2	F2	
			緑地植物学	2	F2	
			野生生物管理論	2	F2	
			※環境デザイン論	2	L2	
			庭園論	2	L2	
			花とガーデニング論	2	F2	
			※緑地工学	2	L2	
			※緑地工学実習	2	F4	
			※緑地施工・材料学	2	L2	
			植物保護学	2	L2	
			※都市田園計画論	2	L2	
	総合化科目			樹木医学概論	2	L2
			造園技能実習	2	F4	
		必	環境緑地専攻演習(一)	2	F2	
必		環境緑地専攻演習(二)	2	L2		
必		※緑化企業実習	2	L4		
		造園施工実習	2	L4		
	卒業研究	2	4			
	緑化ビジネス研修	2	F4			

区分欄の必は必修科目、選必は選択必修科目を表す(空白は選択科目)。

卒業要件単位数		
必修科目	選択科目	計
35単位	27単位以上	62単位以上

選択科目には次の単位を加算することができる。
 ・他学科聴講・大学間履修・英語による専門教育プログラム・特別活動プログラムで修得した単位のうち15単位
 リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

- 注) 1 週時間数欄のFは前学期配当科目、Lは後学期配当科目を表す。
 2 ※は測量コース対象科目。
 3 樹木医補の資格取得については「学生ポータル」を参照すること。

短期大学部

醸造学 科

平成22年 4月改正

短醸

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数	
				一年次	二年次
全学共通	導入科目	必 フレッシュマンセミナー	2	F2	
		必 情報基礎(一)	2	F2	
学部共通	人間関係科目	生 命 倫 理	2		F2
		心 の 構 造	2		F2
	社会関係科目	日 本 国 憲 法	2		L2
		現 代 の 環 境 問 題	2		F2
	自然関係科目	生 物 学	2	F2	
		化 学	2	F2	
		統 計 学	2	L2	
	課題別科目	特 別 講 義(一)	2		
		特 別 講 義(二)	2		
		インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2	
インターナショナル・スタディーズ(二)		2	L2		
英語科目	必 英 語(一)	2	F2		
	英 語(二)	2	L2		
	英 語(三)	2		F2	
	英 語(四)	2		L2	
スポーツ関係科目	スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2		
	スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2		
	就職準備科目	1	L1		
	必 フレッシュマン演習	1	F1		
学部共通	リメディアル教育科目	基 礎 生 物	2	F2	
	基 礎 化 学	2	F2		
	文 章 表 現	2	F2		
専門教育科目	専門共通科目	食 農 体 験 実 習	2	F4	
		農産物マーケティング論	2		F2
	創生型科目	マ イ ス タ ー セ ミ ナ ー	2	L2	
		食 の 安 全 と 信 頼	2	L2	
		みどりと農業生産(含畜産物)	2	F2	

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数	
				一年次	二年次
専門教育科目	専門基礎科目	必 分 析 化 学	2	L2	
		必 有 機 化 学	2	L2	
		必 生 物 化 学	2	L2	
		必 食 品 化 学	2	L2	
		必 生 理 学	2		L2
		必 食 品 分 析 学 実 験	3	L6	
		必 食 品 微 生 物 学	2	F2	
		必 食 品 微 生 物 学 実 験	3	F6	
		必 調 味 食 品 学	2	F2	
		必 酵 素 化 学	2	L2	
	専門コア科目	醸 造 環 境 科 学	2		F2
		生 物 化 学 工 学	2		L2
		必 清 酒 学	2	L2	
		必 酒 類 学 実 験	3		L6
		必 食 品 製 造 学	2		F2
		必 食 品 衛 生 学	2		F2
		必 調 味 料 生 産 学 実 験	3		F6
		必 応 用 微 生 物 学	2		F2
		必 蒸 留 酒 製 造 学	2		F2
		必 醬 油 製 造 学	2	L2	
総合化科目	酒 類 学	2	F2		
	洋 酒 製 造 学	2		F2	
	味 噌 製 造 学	2		F2	
	官 能 検 査 演 習	2		L2	
卒業研究	醸 造 特 別 実 習(一)	1	L2		
	醸 造 特 別 実 習(二)	1		L2	
卒 業 研 究	2		4		

区分欄の必は必修科目、選必は選択必修科目を表す(空白は選択科目)。

卒業要件単位数		
必修科目	選択科目	計
47単位	15単位以上	62単位以上

選択科目には次の単位を加算することができる。
 ・他学科聴講・大学間履修・英語による専門教育プログラム・特別活動プログラムで修得した単位のうち15単位
 リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

- 注) 1 週時間数欄の F は前学期配当科目, L は後学期配当科目を表す。
 2 醸造特別実習(一)・(二)は、集中で行う。
 3 醸造特別実習(二)は、醸造特別実習(一)の単位を修得した学生のみ履修できる。
 4 基礎化学, 基礎生物の履修者は、プレイスメントテストで選抜する。基礎化学履修者は、化学も履修しなければならない。同様に、基礎生物履修者は、生物学も履修しなければならない。
 5 基礎化学履修者は、当科目の単位を修得しなければ、分析化学, 有機化学, 生物化学, 食品化学を履修できない。
 6 基礎生物履修者は、当科目の単位を修得しなければ、生物化学, 生理学, 食品微生物学を履修できない。

栄 養 学 科

平成22年4月改正

短栄

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数			
				一年次	二年次		
総合教育科目	全学共通	導入科目	必	フレッシュマンセミナー	2	F2	
		必	情報基礎(一)	2	F2		
			情報基礎(二)	2	L2		
	学部共通	人間関係科目			生命倫理	2	F2
					心の構造	2	F2
		社会関係科目			日本国憲法	2	L2
					現代の環境問題	2	F2
		自然関係科目			生物学	2	F2
					化学	2	F2
				統計学	2	L2	
	課題別科目			特別講義(一)	2		
				特別講義(二)	2		
				インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2	
				インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2	
	英語科目	必		英語(一)	2	F2	
				英語(二)	2	L2	
				英語(三)	2	F2	
				英語(四)	2	L2	
	スポーツ関係科目			スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2	
				スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2	
			キャリアデザイン	1	L1		
就職準備科目			インターンシップ	1	L1		
			ビジネスマナー	1	L1		
			演習科目	必	フレッシュマン演習	1	F1
学部共通	リメディアル教育科目			基礎生物	2	F2	
				基礎化学	2	F2	
			文章表現	2	F2		
専門教育科目	学部共通科目			食農体験実習	2	F4	
				農産物マーケティング論	2	F2	
	習得科目			マイスターセミナー	2	L2	
				食の安全と信頼	2	L2	
	学際領域科目			みどりと農業生産(畜産産物)	2	F2	
				有機化学	2	L2	
	学科専門	必		基礎化学実験	2	F4	
必		※	基礎栄養学	2	F2		
必		※	栄養化学実験	2	F4		

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数		
				一年次	二年次	
専門教育科目	専門基礎科目	必	※	食品化学	2	F2
		必	※	食品材料科学	2	L2
		必	※	食品学基礎実験	2	L4
		必	※	調理学	2	F2
			※	生化学	2	F2
			※	運動生理学	2	L2
			※	解剖生理学(一)	2	F2
			※	解剖生理学(二)	2	L2
			※	解剖生理学実験	2	L4
			※	食品科学実験	1	L2
			※	食品衛生学	2	L2
			※	食品衛生学実験	2	F4
			※	調理科学実験	1	L2
		※	調理学実習(一)	2	F4	
	専門コア科目	必	※	公衆栄養学	2	L2
			※	公衆衛生学	2	F2
			※	社会福祉概論	2	L2
			※	食品機能学	1	L1
			※	食品加工学	2	F2
			※	食品加工・品質評価実習	2	L4
			※	応用栄養学	2	L2
			※	応用栄養学実習	2	F4
			※	臨床栄養学	2	F2
			※	臨床栄養学実習	2	L4
			※	スポーツ栄養学	1	L1
			※	栄養指導総論	2	F2
			※	栄養指導各論	2	L2
			※	栄養指導実習(一)	2	F4
			※	栄養指導実習(二)	2	L4
総合化科目			※	調理学実習(二)	2	L4
		※	給食管理論	2	F2	
		※	給食管理実習	2	L4	
		※	校外実習総合演習	1	L1	
	必	※	給食管理校外実習(校外実習を含む)	2	F4	
	必		卒業論文	2	4	

区分欄の必は必修科目、選必は選択必修科目を表す(空白は選択科目)。

卒業要件単位数		
必修科目	選択科目	計
27単位	35単位以上	62単位以上

- 選択科目には次の単位を加算することができる。
- ・他学科聴講・大学間履修・英語による専門教育プログラム・特別活動プログラムで修得した単位のうち15単位
 - リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。
- 注) 1 週時間数欄のFは前学期配当科目, Lは後学期配当科目を表す。
 2 ※は栄養士関係科目であるため, 他学科聴講はできない。
 3 栄養士免許を取得するには, 栄養士関係科目を必修とする。
 4 食品学基礎実験, 校外実習総合演習, 給食管理校外実習は, 集中授業で開講する。
 5 卒業論文は, 通年で開講する。

短期大学部

全学共通科目

特別活動プログラム

当プログラム設置の目的

学生諸君が取り組んでいるクラブ活動や社会活動など様々な活動を、本学の「個性ある教育」および人格形成や社会性の涵養など人間教育的観点から意義あるものと位置づけ、積極的に評価し、その単位化を計ることを目的とします。また、これらの活動を単位化することにより、学生諸君の取り組み姿勢を明確にするとともにその内容や意欲のより一層の充実を図ることを合わせて目的とします。

対象とする諸活動

活動区分	対象とする具体的活動
(1) クラブ活動 (一), (二)	体連, 文連, 総務, 応援団, 学科統一本部, 同好会
(2) 国際学生交流活動 (一), (二)	学生サミット, 留学生支援, 大学間交流支援など
(3) 環境マネジメント活動 (一), (二)	学内外環境管理活動
(4) ボランティア活動 (一), (二)	地域貢献, 国際貢献, 環境保全, NPO活動, 学習支援活動 (小・中学校・クラブ活動支援), 福祉活動 (高齢者・障がい者介護支援) など

単位認定の特色とカリキュラム上の位置づけ

本活動に関する単位認定の特徴は、通常の科目のように教員の教育目標やシラバスに基づき行う講義や実験・実習、その成績評価のシステムではなく、学生自らが主体的に取り組んだ活動について、学生本人が、活動の責任者の承認を受け単位認定を申請するシステムであることです（履修申請は不要、活動の指導者、責任者が一括承認も可とする）。最終的には、学生の申請書類（活動記録等）をもとに単位認定委員会が審査し単位認定を行います。

なお、単位数は1年（あるいは短期集中1活動）を1単位とし、申請は単年度申請とします。同一年度における同一活動区分での複数申請は行えません。修得総単位数のうち、2単位が卒業要件として認められます。また、修得単位数は、学則第15条の3に規定するとおり、他学科聴講により修得した単位との合計修得単位のうち15単位まで卒業要件単位に加えることができます。また、当プログラムによる修得単位は、年間および学期ごとの履修制限単位数には含みません。

申請書類提出の手順について

履修のてびき・学生ポータルサイトを参照のこと。

教職・學術情報課程

學術情報課程

学術情報課程

1 学術情報課程とは

本課程の教育は、企業の情報部、資料部、特許部、その他の情報部門、研究開発部門および営業部門、ならびに各種図書館、情報センター等において、科学技術に関する情報の調査・収集・整理・保管・検索・提供等にあたる技術者を養成することを目的にしています。本課程での学習は、大学卒業後、研究、技術、営業その他どんな仕事に従事する場合でも非常に役立つものです。

情報化時代といわれる今日、コンピュータ等の機器は急速に進歩しています。これらのハードを利用する技術を持った人材の養成は大学その他において盛んに行われています。しかし、現在わが国では、科学技術情報の調査から提供までを担当できる技術者が不足し、その養成教育は大学における盲点の一つとなっています。

情報を取扱う人材養成は、人文・社会科学系の大学において、司書のためのコースで行われていますが、自然科学系の大学においてはほとんど行われていません。そのため、企業や公共機関において、科学技術情報を取扱う人材の確保に困難を生じています。本課程は、このような社会の要求にこたえるために開設されました。

2 司書とは

司書は、図書館法によって定められた図書館に置かれる専門職員です。図書館は、図書、記録、資料を収集し、それを整理・保存して利用に供し、教育、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設で、司書はこれらの専門業務を行う職員です。図書館には、司書を置くことが義務づけられています。有資格者の就職先としては、図書館はもちろん、官公庁および企業等の研究開発部門、資料室などがあげられます。

3 司書資格取得について

図書館法第5条2号で司書となる資格を有する者を「大学を卒業した者で大学において図書館に関する科目を履修したもの」と規定しています。

この規定に基づいて、本学では卒業要件を満たし所定の単位（必修11科目22単位及び選択2科目2単位以上、合計24単位以上）を修得した者に対し、資格の証明として「図書館に関する科目の単位修得証書」を授与します。

4 履修科目について

平成24年4月1日改正

資格	開講科目		履修年次	単位
司書	必修	生涯学習概論	1	2
		図書館概論	1	2
		図書館情報技術論	1	2
		図書館制度・経営論	1	2
		図書館サービス概論	1	2
		情報サービス論	1	2
		児童サービス論	1	2
		情報サービス演習	2	2
		図書館情報資源概論	1	2
		情報資源組織論	1	2
		情報資源組織演習	2	2
	選択	図書館基礎特論	2	1
		図書館サービス特論	2	1
		図書館情報資源特論	2	1
		図書館総合演習	2	1
		図書館実習	2	1

- ① 必修科目11科目22単位と選択科目2科目2単位の合計13科目24単位以上を取得し、かつ短期大学士を得たものに対して、卒業時に授与する。
- ② 情報サービス演習（2単位）及び情報資源組織演習（2単位）はそれぞれ60時間の演習を行う。
- ③ 集中講義は夏季期間中に実施する。
- ④ 講義の最終日に試験を実施する。夏季集中講義科目の再試験は行わない。
- ⑤ 1年次終了時に図書館概論、情報サービス論、図書館サービス概論、図書館情報技術論、情報資源組織論、図書館情報資源概論を未修得の場合は、2年次の情報サービス演習、情報資源組織演習を履修できない。
- ⑥ 図書館実習は、1年次終了時に必修科目18単位を取得できない場合は履修することができない。また、図書館実習（1単位）は45時間以上の実習を行う。

◎ 履修方法についての説明会

学術情報課程の履修登録および単位取得についての説明会は1年次の4月に実施しますので、履修希望者は必ず説明会に出席し、所定の期日までに履修手続を行わなければなりません。

履修登録は1年次に限られますので、所定の期日までに申し込まないと履修できなくなります。

5 履修費用について

資格	金額
司書資格	130,000円

